令和５年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人山武市社会福祉協議会

目　　次

概要 ―――――――――――――――――――――――――――――― 1

重点項目 ―――――――――――――――――――――――――――― 1

１．市民参加の仕組みづくりと地域福祉活動計画の推進　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　1

２．権利擁護と自立支援の取り組み　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　1

３．社会福祉協議会の発展に向けた運営基盤の強化　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　2

事業 ―――――――――――――――――――――――――――― 3

１．地域福祉推進体制の充実・発展　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　3

【A】安心・安全な暮らしサポート　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　3

⑴　地域コミュニティ活動の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

①地区社会福祉協議会活動の支援　・・・・・・・・・・・・・・　3

②ふれあいいきいきサロンの支援　・・・・・・・・・・・・・・　4

③家族ふれあい事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

⑵　在宅支援サービスの実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

①地域みまもりサービス事業の実施　・・・・・・・・・・・・・　5

②有料配食サービス事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・　5

③住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施　・・　6

④福祉用具等貸出事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・　6

⑤介護者リフレッシュ事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・　7

⑥みんなの介護スクール事業の実施　・・・・・・・・・・・・・　7

⑶　移動手段の支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

①福祉輸送サービス事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・　8

②福祉カー貸付事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

③マイクロバスの貸出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

⑷　災害時及び緊急時のサポート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

①災害対策と災害当事者への支援事業の実施　・・・・・・・・１０

②交通遺児援護基金による見舞金等の交付　・・・・・・・・・１０

③災害当事者への見舞金の交付　・・・・・・・・・・・・・・・１０

【B】社会参加の場の提供　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊１１

⑴　社会活動の場と手段に関する支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

①山武市山武福祉センターの経営　・・・・・・・・・・・・・・１１

②山武市成東老人福祉センターの経営　・・・・・・・・・・・・１１

③おとこの料理教室事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・１２

④イベント開催のための物品の貸出　・・・・・・・・・・・・１２
【Ｃ】豊かなくらしサポート　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊１３
⑴　支え合いと協働の地域づくり支援（生活支援体制整備事業）　・・・・１３
①第１層、第２層生活支援コーディネーターの設置　・・・・１３
②各種会議等の運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
③課題解決に向けた活動の展開とコーディネートの実施・・・１８
⑵　住民参加・協働によるボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・２０
①ボランティア活動の相談・支援　・・・・・・・・・・・・・・２０
②各種ボランティア・市民活動講座等の開催　・・・・・・・・２１
③おもちゃ図書館の開館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
④福祉教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
２．日常生活を支援するサービスの充実　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊２７
⑴　権利擁護と自立支援の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
①成年後見推進事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
②日常生活自立支援事業の実施（愛称：すまいる）　・・・・２９
③生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化　・・・・・・・・３４
④各種資金の貸付等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
⑵　総合的な相談機能の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
①心配ごと相談所の設置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
②苦情解決相談の受付　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
③虐待通報の受付等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
３．自立生活を支援するサービスの提供　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊４５
⑴　介護サービス関連の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
①介護保険法に基づく第１号訪問事業（訪問型サービスA）の実施４５
⑵　障害福祉サービス関連の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
①移動支援事業の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
②山武市福祉作業所の経営　・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
③山武市簡易マザーズホームの経営　・・・・・・・・・・・・・５１
４．社会福祉協議会の基盤強化　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊５３
⑴　組織・運営に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
①評議員会・理事会・監査機能の充実　・・・・・・・・・・・・５３
②委員会機能の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
③社会福祉協議会発展・強化計画の推進　・・・・・・・・・・５６

④事務所の検討　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
⑤社会福祉法人指導監査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
⑵　財務に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
①月次収支状況の分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
②指定管理施設の運営分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
③会員加入促進（会員募集）　・・・・・・・・・・・・・・・・５７
④赤い羽根共同募金運動の実施　・・・・・・・・・・・・・・・５８
⑤歳末たすけあい募金運動の実施　・・・・・・・・・・・・・・５９
⑥日本赤十字社社資募集運動の実施　・・・・・・・・・・・・・６０
⑦チャリティイベントの実施　・・・・・・・・・・・・・・・・６０
⑧自主財源の確保（その他）　・・・・・・・・・・・・・・・・６１
⑨寄附金品　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
⑶　人材確保・育成に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２
①人材確保・育成（実習生の受け入れ）　・・・・・・・・・・６２
②役職員研修会の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２
③職員研修会の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６３
⑷　広報・啓発に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
①広報誌「きずな」の発行　・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
②リーフレット・チラシの作成　・・・・・・・・・・・・・・・６４
③ホームページの充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
④第 18 回山武市社会福祉大会の開催　・・・・・・・・・・・・６５
⑤第 14 回山武市健康福祉まつりの実施　・・・・・・・・・・・６６
⑥出前講座の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
⑸　福祉団体の支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
①山武市ボランティア連絡協議会　・・・・・・・・・・・・・・６７
②山武市身体障害者福祉会　・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
③山武市手をつなぐ親の会　・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
④山武市赤十字奉仕団　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
⑤山武市ゴールドクラブ連合会　・・・・・・・・・・・・・・・６８
⑹　第４次地域福祉活動計画の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６９
①山武市地域福祉活動計画推進委員会　・・・・・・・・・・・６９

令 和 5 年 度 事 業 報 告

【 概　要 】

令和５年度は、５月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが２類相当から５類に移行し、行動制限が解除されたことから、社会経済活動の正常化が進むとともに、コロナ禍で停滞していた様々な活動が再び動き始めた年でした。

当協議会では、市と一体として策定した第４次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念である「だれもが生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり」を目指し、感染対策を講じながら、在宅福祉サービスの提供及び地域福祉活動をすすめてきました。

社会情勢が変化する中、社会福祉協議会が担う役割も多様化しています。これからも、新たに取り組むべき課題やニーズを的確に捉え、地域福祉の推進に取り組んでいきます。

【重点項目】

１．市民参加の仕組みづくりと地域福祉活動計画の推進

・５年ぶり開催を予定した「健康福祉まつり」の準備の過程で多くの人が交流し、参加協力していただく仕組みづくりができました。その活動の中で市民が交流しつながることの大切さや地域活動に対する前向きな意識が広がり、福祉活動の推進につながりました。

・新型コロナウイルス感染者数が減少し少しずつ地域住民の交流も進んできました。地区社協をはじめ、社会福祉協議会関係団体等の事業についても参加者が増加し活動が活発になってきました。次年度に向け、本年度の事業計画の重点項目であった「市民が積極的に参加できる機会づくり」にさらに取り組めるように第４次地域福祉活動計画の基本目標６の「助け合い意識の醸成と市民がつながる地域づくりの推進」を意識して活動することが必要と考えます。

２．権利擁護と自立支援の取り組み

⑴　成年後見制度の利用促進

・成年後見制度の相談内容も多様化になり、関係機関との連携を取りながら個別相談の継続対応により利用促進に努めることができました。

・後見活動を担う支援員の育成のための体制を整える準備をすることができました。

⑵　生活困窮者自立支援制度事業の充実強化

・生活就労相談室に職員３名（内、就労支援員兼務２名）を配置し、生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施しました。コロナウイルス終息後も多くの新規相談があり、解決に向け関係機関の協力を得ながら、きめ細かな対応に努めました。

⑶　虐待防止及び身体拘束等の適正化に向けた取り組み

・障害福祉サービス事業所では、利用者への支援や現場が抱える課題などの状況を把握するため、職員を対象に毎月自己チェックを実施しました。また、自己チェックの集計結果を基に職員で現状と課題を共有し、課題解決に向けての取り組みなど協議し、虐待防止対応責任者へ報告しました。

３．社会福祉協議会の発展に向けた運営基盤の強化

⑴　発展・強化計画の推進

・令和４年度から令和８年度までの５年間を期間として策定した発展・強化計画について、第４次地域福祉活動計画との整合性を持ちながら計画を推進しました。

・各部署において、SDGｓ（持続可能な開発目標）を意識し、活動に取り組みました。また、広報「きずな」に各部署の活動について掲載しました。

⑵　社会福祉法人の健全な運営

・理事会を業務執行に関する意思決定機関として位置付け、事業をすすめました。

・安定した法人運営を行うため、毎月収支状況の確認及び分析を行い、事業に見合った適正な支出管理に努めました。

⑶　人材の確保・育成・定着

・多様化する福祉ニーズに対応するため、業務の効率化を図るとともに、事業が安定的に継続できるよう人材の確保及び育成に努めました。

【事業】

１．地域福祉推進体制の充実・発展
【Ａ】安心・安全な暮らしサポート

⑴　地域コミュニティ活動の推進

①地区社会福祉協議会活動の支援

目的と概要	小地域の地域福祉活動を推進するため市内１３の地区に地区社会福祉協議会を設置し、市民の福祉の増進を図ることを目的に当該地区の実情に即した地域福祉活動の支援を行いました。
考　察	令和５年度当初、新型コロナウィルスの再燃により参集型の活動が難しい状況がありましたが、その後各地区とも地域福祉活動が活発に実施されるようになりました。コロナ以前の活動に近い形で事業を実施する地区が増えてはいますが、地域住民や学校側の慎重な姿勢も未だに感じられる状況です。
設置数等	成東地域　５か所（成東地区・大富地区・南郷地区・鳴浜地区・緑海地区） 山武地域　４か所（睦岡地区・山武北地区・日向東地区・日向西地区） 蓮沼地域　１か所（蓮沼地区） 松尾地域　３か所（豊岡地区・松尾地区・大平地区） 合計　１３か所
実　績	＜地区社協連絡会＞ 【第１回】 期　日　令和５年　７月１０日（月） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 【第２回】 期　日　令和５年１２月　４日（月） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 【第３回】 期　日　令和６年　３月　８日（金） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 ＜地区社協福祉推進員研修会＞ 期　日　令和６年　２月　１日（木） 場　所　農村環境改善センター松尾ふれあい館　多目的ホール 内　容 ・「となりの外国人を知る」～これからの地域共生社会のために～ ＪＩＣＡ東京 国際協力推進員（外国人材・共生）　松井和久　氏 ・「高齢者を見守る地域の目として」～転倒骨折予防ﾌﾟﾛｼﾞｪｸと地域の役割～ 山武市役所高齢者福祉課　高齢者福祉係　　瓜生洋一　氏 ＜城西国際大学看護学部ボランティア実習受入れ＞ 受 入 期 間　令和５年 ６月 ～ １２月 受入地区社協　３地区社協（大富、鳴浜、豊岡） 受 入 者 数　１６人

②ふれあいいきいきサロンの支援

目的と概要	子どもから高齢者が地域の中で楽しい仲間づくりを進めることにより、いきいきした活力や生きがいを得ることを目的として、ふれあいいきいきサロン事業の推進を行いまいした。
考　察	引続き感染予防に努め開催したサロンが多くみられました。また、感染症対策の影響で解散となる団体も若干ありました。今後も市内全体にサロンが増えるようＰＲ活動に努めていきます。
実　績	補助金交付　２３か所のサロン （うち３回以上２１サロン，未実施２サロン）

＜ふれあいいきいきサロン研修会＞

期　日	令和６年３月１１日（月）
会　場	松尾ＩＴ保健福祉センター　多目的室
参加者	参加者１７名・事務局１名
内　容	地域の人々を元気にするために ～楽しいレクリエーション体験とレクリエーション支援のノウハウ～ 講義「いきいきサロンや通い・集い・交流する場でアイスブレーキング」 講師：袖ヶ浦市レクリエーション協会　会長　伊藤和雄氏 ※通い・集い・交流する居場所づくり事業との共催

③家族ふれあい事業の実施

目的と概要	様々な体験・学習活動等のイベントを通して親子や家族のふれあいと結びつきを再認識するとともに、地域福祉活動やボランティア活動を知り、自ら担い手となり活躍する人材育成と支え合いの地域づくりを推進しました。
考　察	市内の小学校にチラシを配布し周知しましたが、そのチラシを見て参加した方がなく期待した効果を得ることができませんでした。家族のコミュニケーションの場が他に多くあり事業として効果がないと考えられます。
実　績	○SDGs をテーマとしたゲーム体験（すごろく・カードゲーム等） 期　日　令和５年１２月１０日（日） 会　場　蓮沼交流センター和室（市民活動フェスタ会場） 参加者　市民活動フェスタ来場者 ４家族　１９人

⑵　在宅支援サービスの実施

①地域みまもりサービス事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>月１回定期的に高齢者宅を訪問することで地域との交流を促進し、孤独感の解消を図るとともに安否確認を行うことを目的に各地区で実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、例年どおり実施しました。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>民生委員や福祉推進員が安否確認のためにお弁当または軽飲料を持参し訪問しました。
<table>
<tr><th>地域名</th><th>利用者数</th><th>実施回数</th><th>延べ
利用者数</th><th>延べ
訪問協力者数</th></tr>
<tr><td>成東地域</td><td>１名</td><td>１０回</td><td>１０名</td><td>１０名</td></tr>
<tr><td>山武地域</td><td>１８名</td><td>１２回</td><td>２０７名</td><td>１４２名</td></tr>
<tr><td>松尾地域</td><td>３名</td><td>１２回</td><td>２８名</td><td>２０名</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>２２名</td><td>３４回</td><td>２４５名</td><td>１７２名</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

②有料配食サービス事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>日常生活に支障のある市内に居住するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及び心身障がい者を対象とし、生活状態や健康状況、経済状態等を考慮し、食生活の確保、改善を通して健康保持を図り、在宅生活を支えることを目的として実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、実施しました。
また、定期的に訪問することで、利用者の体調の変化に気づくことができました。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>各地域の事業者へ弁当の製造と配達を依頼し、対象者への支援活動を実施しました。【※蓮沼地域及び松尾地域はボランティアが配達】
<table>
<tr><th>地域</th><th>配達
回数
（日）</th><th>利用者
(3 月末)</th><th>延べ
利用者数</th><th>延べ配食数
（内補助有）</th><th>委託業者</th></tr>
<tr><td>成東</td><td>104 回</td><td>7 名</td><td>97 名</td><td>598 食
(574 食)</td><td>・みっちゃんのなおや
・まごころ弁当山武店</td></tr>
<tr><td>山武</td><td>97 回</td><td>9 名</td><td>106 名</td><td>636 食
(591 食)</td><td>・光明会</td></tr>
<tr><td>蓮沼</td><td>42 回</td><td>0 名</td><td>6 名</td><td>44 食
(43 食)</td><td>・みっちゃんのなおや
・まごころ弁当山武店</td></tr>
<tr><td>松尾</td><td>102 回</td><td>2 名</td><td>24 名</td><td>203 食
(203 食)</td><td>・みっちゃんのなおや
・油屋トトズキッチン</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>345 回</td><td>18 名</td><td>233 名</td><td>1,481 食
(1,411 食)</td><td></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

③住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>支援を必要とする方に対して、日常の生活支援（買物や手続きの代行・住居の掃除・食事の支度・見守りや話し相手・外出付添い等）を行うサービスを提供しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施しました。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>【会員数】
<table>
<tr><td>地　域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td></tr>
<tr><td>利用会員</td><td>１５</td><td>１２</td><td>２</td><td>３</td><td>３２</td></tr>
<tr><td>協力会員</td><td>１２</td><td>４</td><td>２</td><td>２</td><td>２０</td></tr>
</table>
【活動実績】
<table>
<tr><td>地　域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td></tr>
<tr><td>延べ
活動回数</td><td>１１６</td><td>１３７</td><td>４</td><td>１７</td><td>２７４</td></tr>
</table>
＜協力会員研修会＞
・期　日　令和６年３月２日（土）
・場　所　成東老人福祉センター　大会議室
・参加者　１０名</td></tr>
</table>

④福祉用具等貸出事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>介護保険非該当者等に福祉用具を貸出し、在宅介護及び日常生活を支援し福祉サービスの向上を図ることを目的に行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>用具返却時に消毒等を行いました。必要に応じて、修繕を行いました。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><td>福祉用具名</td><td>貸出件数</td><td>延べ貸出台数</td></tr>
<tr><td>車椅子</td><td>９１件</td><td>１１７台</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

⑤介護者リフレッシュ事業の実施

目的と概要		現在、家族の介護をされている介護者等を対象に、介護に関する相談会、交流会を行うことにより身心のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。
考　察		交流会やレクリエーションを通じて、介護による負担の軽減をはかりました。
第1回	期　日	令和６年１月３１日（水）
	会　場	山武福祉センター
	参加者	１３名
	内　容	介護の相談会・交流会
第2回	期　日	令和６年３月２２日（金）
	会　場	さんぶの森文化ホール
	参加者	１１名
	内　容	（１）「dolce　K&K」による生演奏をバックに参加者が歌って楽しく過ごす。 （２）参加者による自己紹介や介護体験についての意見交換等

⑥みんなの介護スクール事業の実施

目的と概要		介護について関心のある方に対し、介護などに関する講習会を行うことにより介護の知識、技術を身につけ、もって在宅福祉の推進を図ることを目的に実施しました。
考　察		介護技術向上のための講座と、多くの方の関心事である終活についてを研修テーマとしました。
第1回	期　日	令和５年１２月２２日（金）
	会　場	さんぶの森交流センターあららぎ館
	参加者	７名
	内　容	【講義及びワーク】 「自立支援の視点から考える介護」 講師：株式会社いずみ グループホームなるとう管理者　地引　徹　氏 グループホームはすぬま管理者　御苑　碧衣　氏
第2回	期　日	令和６年２月２１日（水）
	会　場	さんぶの森交流センターあららぎ館
	参加者	１２名
	内　容	【講義及びワーク】 「自立支援の視点から考える介護（後編） ～認知症について理解する～」 講師：株式会社いずみ 小規模多機能管理者　秦　裕美　氏

⑶　移動手段の支援

①福祉輸送サービス事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>単独で公共交通機関の利用が困難な移動困難者（介護保険認定者、身体障害手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳所持者等）に対して外出支援を行うサービスを提供しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施しました。
運転者講習会を開催し、協力会員の確保につながりましたが、まだ協力会員が不足しているため、今後も協力会員の確保に努めていきます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>【会員数】
<table>
<tr><td>地 域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td></tr>
<tr><td>利用会員</td><td>４３</td><td>４５</td><td>１６</td><td>２６</td><td>１３０</td></tr>
<tr><td>協力会員</td><td>１５</td><td>6</td><td>2</td><td>5</td><td>２８</td></tr>
</table>
【活動実績】
<table>
<tr><td>地 域</td><td>成東</td><td>山武</td><td>蓮沼</td><td>松尾</td><td>計</td></tr>
<tr><td>延べ
活動回数</td><td>1,225</td><td>942</td><td>191</td><td>598</td><td>2,956</td></tr>
</table>
＜福祉有償運送運転者講習及びセダン等運転者講習会＞
期　日　　令和５年９月２日（土）～３日（日）
場　所　　成東老人福祉センター　大会議室
修了者　　９名
登録者　　協力会員登録９名

＜協力会員研修会＞
期　日　　令和６年３月２日（土）
場　所　　成東老人福祉センター　大会議室
参加者　　１６名</td></tr>
</table>

②福祉カー貸付事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>心身障がい者及び高齢者の社会参加を促進し、福祉の向上を図ることを目的に車両の貸出しを行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>貸出車両の消毒、清掃を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。</td></tr>
<tr><td>実　　績</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">車両名</td><td>一般貸出</td><td>福祉輸送</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>件数</td><td>件数</td><td>件数</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゆうあい成東号（キャラバン）</td><td>１３</td><td>３２</td><td>４５</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゆうあい山武号（キャラバン）</td><td>１５</td><td>０</td><td>１５</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゆうあい蓮沼号（キューブ）</td><td>６８</td><td>２２</td><td>９０</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゆうあい松尾号（キャラバン）</td><td>１０</td><td>５</td><td>１５</td></tr>
<tr><td rowspan="2">福祉車両</td><td>エブリイ（事務局）</td><td>８２</td><td>５</td><td>８７</td></tr>
<tr><td>Ｎ－ＢＯＸ（松尾連絡所）</td><td>３８</td><td>３８</td><td>７６</td></tr>
<tr><td rowspan="2">介護車両</td><td>ワゴンＲ（山武連絡所）</td><td>０</td><td>１５８</td><td>１５８</td></tr>
<tr><td>ムーヴ（蓮沼連絡所）</td><td>２４</td><td>８６</td><td>１１０</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>２５０</td><td>３４６</td><td>５９６</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

③マイクロバスの貸出

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>地区社会福祉協議会や社会福祉団体等が実施する事業などへマイクロバスの貸出しを行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行し行動制限がなくなったことなどにより、秋以降マイクロバスの貸出が増加しており、回復傾向にあります。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>計</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>5</td><td>6</td><td>2</td><td>3</td><td>6</td><td>9</td><td>43</td></tr>
</table>
※キャンセル１件を除く
</td></tr>
</table>

⑷　災害時及び緊急時のサポート

①災害対策と災害当事者への支援事業の実施
＜災害支援ボランティア講座の開催＞

目的と概要	災害支援ボランティア活動に対する知識と理解を深め、ボランティアとしての意欲の高揚や資質向上を図り、参加者が地域のリーダーとなって活動することで地域防災の増進に寄与することを目的として開催しました。
考　察	市民の防災意識を高めるため、一般市民を対象に防災に対する心構えについての講義やハイゼックスを使った炊き出し訓練及び災害時にも作れる簡単料理についてのワークショップを行い、防災知識の普及活動に努めました。
共　催	山武市ボランティア・市民活動センター 赤十字防災ボランティア第５ブロック 山武市ボランティア連絡協議会
期　日	令和６年３月２０日（水）
場　所	成東文化会館のぎくプラザ
参加者	６１名
内　容	炊き出し体験等を通じて防災、減災について学ぶ

②交通遺児援護基金による見舞金等の交付

目的と概要	陸上交通事故などで父母等を失った１８歳未満の交通遺児激励のため、教育委員会を通じて対象となる方を調査し、高校卒業祝いの激励金と大学受験費用の助成金の交付を行いました。
考　察	これまで継続して支援を行っていた２家族の交通遺児が１８歳を迎え今期の支援で終了となりましたが、親権者の方には今後も相談支援を行う旨のお話を担当民生委員とともにお伝えしました。
実　績	・高校卒業祝い激励金の交付　　２名 ・大学受験費用助成金の交付　　１名

③災害当事者への見舞金の交付

目的と概要	火災、風水害及び地震その他自然災害による被災者で援護を必要とする者を救済するため、見舞金を交付しました。（社協災害見舞金・共同募金会災害見舞金・赤十字災害救援見舞金各規程に基づく）
実　績	全焼１件（１件当たり市社協 50,000 円、共同募金 10,000 円、赤十字 5,000 円及び物資）

【Ｂ】社会参加の場の提供

⑴　社会活動の場と手段に関する支援

①山武市山武福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である地域住民の福祉の推進及び福祉意識の高揚を図る場として、会議室等の貸出を行いました。
考　察	利用者が安心して施設を利用できるよう感染予防対策は継続して行ないました。また新型コロナウイルス感染症が５類に移行したこともあり利用者は回復傾向にあります。
利用実績	施設利用実績　　２，００４名 貸出延べ回数　　６９１回
避難訓練	【自主訓練】 令和６年３月１５日（金）

②山武市成東老人福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である高齢者の健康増進、教養の向上並びにレクリエーションの場として、会議室等の貸出及び自主事業を開催しました。
考　察	利用者が安心して施設を利用できるよう感染予防対策は継続して行ないました。また新型コロナウイルス感染症が５類に移行したこともあり利用者は回復傾向にあります。
利用実績	施設利用実績　　９，６１０名 貸出延べ回数　　７０７回
避難訓練	【第１回】 期　日　令和５年　６月２９日（木） 参加者　成東老人福祉センター・簡易マザーズホーム・成東福祉作業所 ※東消防署員立会いのもと実施しました。 【第２回】 期　日　令和５年１２月２６日（火） 参加者　成東老人福祉センター・簡易マザーズホーム・成東福祉作業所 ※東消防署員立会いのもと実施しました。
自主事業等	＜高齢者向けの「はじめてスマホ教室」＞ 【第１回】 期　日　９月４日・９月７日・９月１１日・９月１４日・９月２０日・９月２１日（全６回） 参加者　１０名（延べ５７名） ＜自主団体への協力＞ ○脳トレ健康教室 ○健康麻雀教室等

③おとこの料理教室事業の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>料理（調理）の知識や経験の少ない男性（概ね６０歳以上）を対象に基本的な指導を行う初級講座、初級講座修了者向けに中級講座を開催し、自身の食生活自立及び家族の健康を保つ一助とすることを目的に実施しました。また、料理教室の参加を通じて仲間作りや親睦を図りました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>中級講座受講者の方々へ地域の高齢者が集い交流できる居場所づくり事業の設置を促進しました。今後は、調理の経験を活かし社会参加できる場として社会福祉協議会の事業への参加に繋げていきます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><td>会場</td><td>場　　所</td><td>会員人数</td><td>参加延べ人数</td></tr>
<tr><td>初級</td><td>松尾ＩＴ保健福祉センター調理室</td><td>７名</td><td>３８名（８回）</td></tr>
<tr><td>山武</td><td>さんぶの森中央会館調理実習室</td><td>１３名</td><td>６２名（８回）</td></tr>
<tr><td>蓮沼</td><td>蓮沼交流センター調理室</td><td>１２名</td><td>７２名（８回）</td></tr>
<tr><td>松尾</td><td>松尾ＩＴ保健福祉センター調理室</td><td>１５名</td><td>８３名（８回）</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　計</td><td>４７名</td><td>２５５名（３２回）</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

④イベント開催のための物品の貸出

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>地域福祉活動（交流）を目的としたイベントなどを中心に物品貸出しを行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>前年度より貸出件数は増加しましたが、コロナ禍前と比べるとイベント等の開催が少ないため、物品の貸出件数も少ない状況です。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><td>物品名</td><td>貸出件数</td><td>物品名</td><td>貸出件数</td></tr>
<tr><td>ポップコーン製造機</td><td>２件</td><td>もちつき機</td><td>１件</td></tr>
<tr><td>わたあめ製造機</td><td>１件</td><td>ステージ用具（平台）</td><td>１件</td></tr>
<tr><td>かき氷機（電動）</td><td>１２件</td><td>ステージ用具（コンテナ）</td><td>１件</td></tr>
<tr><td>鉄板（ガス用）</td><td>０件</td><td>天幕テント</td><td>５件</td></tr>
<tr><td>発電機</td><td>２件</td><td>机（長テーブル）</td><td>６件</td></tr>
<tr><td>臼・杵</td><td>２件</td><td>イス</td><td>８件</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

【C】豊かなくらしサポート

⑴　支え合いと協働の地域づくり支援（生活支援体制整備事業）

①第１層、第２層生活支援コーディネーターの設置
＜生活支援コーディネーターの配置＞

目的と概要	地域高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進するために第１層（市域）生活支援コーディネーター１名（社協職員）を配置しました。 また、小域の地域活動を調査し、その活動支援と多様な活動者同志のつながり作りを行う第２層（小地域）の生活支援コーディネーター３名（市民）を配置しました。
考　察	第１層生活支援コーディネーターとして、関係者間の調整と資源開発、現在活動している団体等の支援を行いました。また、第２層生活支援コーディネーターとともに個別ケースに関しての情報提供と社会資源のコーディネートを行いました。今後さらに各地域包括支援センターや福祉事業所のケアマネジャーと連携し、個別ケースの支援が必要とされています。
実　績	○地域の生活支援サービスに係るニーズ及び地域資源の把握 ・地域ケア会への参加、社会資源の発掘 ○生活支援サービスに係る関係者間のネットワークの構築 ・転倒骨折予防プロジェクトへの参画 ○地域ニーズとサービスのマッチング ・個別ケース支援に関する助言やコーディネート ○地域に不足する生活支援サービスの創出に係る検討及び調整 ・移動問題に関する協議、認知症啓発及び支援活動 ○一般のサービスの担い手となるボランティア等の養成 ・福祉のこころづくり講座の検討 ○第２層コーディネーターとの情報共有等

②各種会議等の運営
＜地域包括支援センター運営協議会への参加＞

目的と概要	市地域包括支援センターの運営に関して協議する会議に、生活支援コーディネーターとして参加しました。
考　察	市内３つの地域包括支援センターの活動や運営に関し報告を受け協議をする中で、市の活動状況を把握し地域福祉活動とのつなぎ役としての課題を整理するように努めました。
事業内容	○第１回山武市地域包括支援センター運営協議会 令和５年　６月２９日（木）　市役所会議室 ○第２回山武市地域包括支援センター運営協議会 令和５年１２月　７日（木）　市役所会議室 ○第３回山武市地域包括支援センター運営協議会（書面開催） 令和５年１１月

＜地域ケア会議への参加＞

目的と概要	地域包括支援センターが主催し、歯科医師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、主任ケアマネ、栄養士、地域包括職員等が集い、介護予防サービス等の支援を受けている高齢者の自立支援に向けた会議へ、生活支援コーディネーターとして参加し、対象者が地域で豊かに生活できるよう地域活動やサービスの紹介とつなぎ役として助言を行いました。
考　察	個別ケースから同様の課題を持つ人達が地域にいると意識して会議に参加し、本年度は、要支援の認定を受けている方のケースを多く扱い課題の抽出とそれに対する取り組みについて協議しました。特に、行動範囲が自宅周辺のみの方に対する生きがい作りや“楽しみ”の提供については苦慮しました。
実　績	１０回開催（令和５年５月から令和６年２月まで） ※各回２つの個別ケース事例について協議し意見交換を行う

＜転倒骨折予防プロジェクトへの参画と協働事業の実施＞

目的と概要	山武市と筑波大学が協働で行う「転倒骨折予防プロジェクト」へ参画し、転倒し骨折から重度の介護状態となる市民を減らすための取り組みを実施しました。高齢者が自分の体の現在の状況を把握し、今後の健康づくりに役立ててもらうための「生活機能モニタリング測定会」や高齢者に介護予防や転倒リスクについて考えてもらえる機会を提供する「いきいきわくわく教室」、日常生活に生きがいを持つことで健康維持の意欲を高めてもらうための「はなまるサロンさんむ」を実施しました。
考　察	○地域のハブ事業としてプロジェクトの中心的に実施している「生活機能モニタリング測定会」も３年目となり市民ボランティアの参加と専門職の方々が連携した運営体制が充実してしました。 ○「いきいきわくわく教室」も他機関と連携しながら順調に開催することができました。 ○「通い・集い・交流の居場所づくり運営団体」のボランティアにも体験していただきながら、地域の中で転倒のハイリスク者やフレイル（虚弱）状態にある方などを見つける『地域の目』としての活動もすすめることができました。 ○各活動が充実してきましたが、より多くの方に活動を知っていただき参加や運営に携わる市民を増やすことが課題です。

実　績	≪関係者会議≫ 期　日　　毎月第１木曜日　リモート会議を開催 参加者　　陣内教授、高齢者福祉係、地域包括支援センター、図書館、 ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ、さんむ医療ｾﾝﾀｰ、千葉ﾚｸ都市開発（株） 第１層生活支援コーディネーター ＜生活機能モニタリング測定会＞ 期　日　　原則月１回　毎回約２０名の測定を実施 会　場　　蓮沼交流センター　１階　イベントスペース 内　容　　測定種目：身長・体重、体組成、骨強度、握力、立ち上がり、 構音、嚥下、聴力、視力、巧緻、姿勢保持、移動 相談ｺｰﾅｰ：測定結果を踏まえ健康づくり生きがいづくりの アドバイスを行う ＜いきいきわくわく教室＞※ゴールドクラブ主催事業と協同実施 【第１回】 期　日　　令和５年　６月　９日（金） 会　場　　松尾ふれあい館 参加者　　６８人 内　容　　講演：「日常生活に必要な基礎体力を知ろう！」 日本医科大学　筑波大学客員研究員　陣内裕成　氏 各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集） ・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度） ・福祉作業所（手作り品の販売） ・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力） ・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り） 【第２回】 期　日　　令和５年　８月１０日（木） 会　場　　成東文化会館のぎくプラザ 参加者　　１１６人 内　容　　講演：「転倒骨折から骨を守ろう！」 さんむ医療センター骨粗鬆症リエゾンサービス委員会 さんむ医療センター　看　護　師　　相葉香実 氏 〃　　管理栄養士　　盛　晃彦 氏 〃　　理学療法士　　篠崎一弥 氏 各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集） ・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度） ・福祉作業所（手作り品の販売） ・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力） ・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り） 【第３回】 期　日　　令和５年１０月１３日（金） 会　場　　さんぶの森中央体育館 参加者　　９７人 内　容　　講演：「脳の健康チェック！いろんな認知機能診断」 九十九里病院　作業療法士　芝井孝佑　氏 各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集）

・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度）
・福祉作業所（手作り品の販売）
・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力）
・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り）

【第４回】
期　日　　令和５年１２月１５日（金）
会　場　　蓮沼交流センター
参加者　　８２人
内　容　　講演：「専門家に聞いてみよう！高齢者の病気とその予防」
さんむ医療センター
〃　　看護部糖尿病看護認定看護師　小倉和樹　氏
〃　　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ課　理学療法士　　渡邊慎也　氏
各ブース：・ＧＣレク（ﾋﾞｰﾝﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・室内ﾍﾟﾀﾝｸ・会員募集）
・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度）
・福祉作業所（手作り品の販売）
・ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ（小物販売・健康ﾁｪｯｸ視力・握力）
・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り）
・ベルスズキ（補聴器の相談）

＜はなまるサロンさんむ＞
期　日　　第１回：令和５年　４月１２日（水）10:00～12:00　８人
第２回：　〃　　７月１２日（水）　〃　　16 人
第３回：　〃　　９月２７日（水）　〃　　10 人
第４回：　〃　　１１月　８日（水）　〃　　６人
第５回：令和６年　１月２４日（水）　〃　　10 人
会　場　　成東文化会館のぎくプラザ　※本年度より会場固定
内　容　　読み語り、おしゃべり＆相談コーナー
雑巾づくり→社協へ寄附（生きがい作り）
折り紙、薬剤師さんの相談、補聴器相談等

＜はなまるサロンさんむスペシャル＞
期　日　　令和６年　３月１３日（水）10:00～12:00
会　場　　ヤックス成東店　店内スペース
内　容　　「骨」をテーマにした各講演
① 健康運動指導士さんのお家でもできる軽い運動
② 管理栄養士さんの骨のための食事について
③ 薬剤師さんの骨と薬に関するお話
参加者　　２０人（市民１０名、スタッフ１０名）

＜山武市地域包括支援センター運営協議会部会(やさしいおもいでささえあおう会)の運営＞

目的と概要	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って安心して在宅生活を継続していくために、医師、地域の生活支援・介護予防サービスを担う施設や事業所、福祉関係団体、ボランティア活動団体等と連携し協議するため、会議を開催しました。
考　察	やさしいおもいでささえあおう会（協議体）の開催については、運営方針を市と協議し参集型の開催を断念しました。今後、地域包括圏域の小域で個別ケースに関する協議をすすめるように検討しています。
実　績	○「認知症問題への取組み」検討チームとして、市の『認知症啓発イベント』映画上映会の周知と運営を支援しました。 ＜映画上映会＞ 期　日　　令和５年１１月１５日（水） 場　所　　成東文化会館のぎくプラザ　ホール 内　容　　映画の上映と掲示物等の設置 参加者　　１７６名（参加者：159 人・ｽﾀｯﾌ 17 人） ○高齢者や家族の相続や終活問題に対して、気軽に相談できる仕組みづくりに努めました。 ＜安心相続・終活相談会＞ 内　容　　電話受付からアドバイザーへつなぎ、必要があれば面接で相談できるようになりました。 相談件数　　９件（前年度２１件）

③課題解決に向けた活動の展開とコーディネートの実施

＜通いの場の活動支援＞

目的と概要	地域の高齢者が集い交流できる居場所を運営するボランティアグループに対し「集い・通い・交流の居場所運営費補助事業」として補助金の交付し、地域高齢者の主体的な「こころと体の健康づくり」を推進しました。
考　察	コロナ禍で活動方法に大変苦慮していましたが、気心の知れた中での活動は地道に進められていました。地域の高齢者自身が感染対策を意識しながら健康づくり活動をすすめています。本年度は、こころと体の健康づくりをしたいというニーズを拾い、各団体が主体的に活動できるよう研修会を開催しました。
事業内容	○補助金交付ボランティア団体　合計２３ｸﾞﾙｰﾌﾟ（昨年度 22 ｸﾞﾙｰﾌﾟ） 月１回以上活動するグループ　５グループ　235,000 円 月２回以上活動するグループ　８グループ　960,000 円 週１回以上活動するグループ　１０グループ　2,260,000 円 ○交付終了ボランティア団体　２グループ　※自立活動開始した団体 ＜通い・集い・交流する居場所づくり事業運営者研修会＞ 期　日　令和６年３月１１日（月） 場　所　松尾ＩＴ保健福祉センター　多目的室 参加者　１７グループ　３１名参加 内　容　地域の人を元気にするために ～楽しいﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ体験とﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ支援のノウハウ～ 講師　袖ヶ浦レクリエーション協会　会長　伊藤和雄 氏

＜福祉有償運送運転者講習及びセダン等運転者講習会＞

目的と概要	高齢者の買い物支援サービス検討チームの活動と社会福祉協議会が実施している福祉輸送サービス事業の担い手育成のため研修会を実施しました。
考　察	買い物支援に携わる市民ボランティアの育成と高齢者の移動支援の仕組みづくりの一環として研修会を開催していますが、参加者が仕組みづくりにつながっていないことが課題になっています。
事業内容	期　日　令和５年　９月　２日（土）～３日（日） 場　所　成東老人福祉センター　大会議室 修了者　９名受講

＜新たなつながりづくり推進プロジェクト＞

目的と概要	新たなつながり作り推進プロジェクトとして、コロナ禍での新しいコミュニケーションを広げることや災害時などに自ら情報を集めたりすることができる高齢者を増やすための講座を開催しました。
考　察	○講座修了者の２つの自主グループの活動が活発化し講座に参加していない方の受け入れも可能になってきました。また、松尾･蓮沼地域包括支援センターの協力で新たに講座を開催することができました。終了後、自主グループの立ち上げにつなげることができました。
事業内容	＜初心者・中高年のためのスマホ講座＞ 合計２０名 成東老人福祉センター　2～3 月(月 2 回開催)参加者　5 名(延べ 21 名) 松尾蓮沼地域包括支援ｾﾝﾀｰ　11～1 月(月 2 回開催)参加者 15 名(延べ 84 名)

＜各協力団体との連携・調整会議等への参加と協力＞

目的と概要	生活支援コーディネーターとして他機関と連携し事業の企画会議や調整会議を行い、協働事業を実施しました。
考　察	社会福祉協議会関係者だけでなく幅広い分野の方と協働して事業が行えるように、積極的に新たな人脈づくりや新しい会議への参加に努めました。
事業内容	＜さんむオレンジチームへの参画＞ ○認知症当事者や家族が認知症の初期段階から地域で安心して暮らし続けられるように、認知症ステップアップ講座修了者と協力し認知症啓発とオレンジカフェの開催に取り組みました。 期　日　・毎月１回運営側会議（地域包括職員及び生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ） ・別日で月１回市民ボランティア参加の会議を開催 ※認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催、認知症についてのイベントや周知活動（全国アルツハイマー月間イベント、認知症啓発映画会、健康福祉まつりブース開設等の支援） ＜本須賀おらんちカフェの開催＞ ○鳴浜・南郷地区社協、ボランティア、地域包括支援センター等と協力しエクセルシオール山武を会場に地域高齢者が集まり交流するイベントを開催しました。 会　議　令和５年９月～令和６年３月まで準備等の会議を６回開催 期　日　令和６年　２月　９日（金）13：30～15：30 参加者　地域の高齢者 10 人、施設入所者 7 人、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 6 人 ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ職員 5 人、関係職員 6 人　　合計 34 人 ＜山武圏域 SC 圏域別情報交換会＞ 期　日　令和６年　２月１４日（水） 場　所　千葉県教育会館会議室 ※千葉県庁担当課と山武圏域の生活支援体制整備事業担当者が集い情報交換を行いました。

＜市民に向けた積極的な情報発信と周知活動＞

内　容	○社会福祉協議会報「きずな」へ生活支援体制整備事業の記事掲載（４回） ・令和５年春号、夏号、秋号、令和６年新年号 ○日本公衆衛生学会への参加 ・つくば市つくば国際会議場　１０月３１日（火）　企画ブース展示 ○令和５年度運動器の健康・日本協会「優秀賞」を受賞 ・山武市転倒骨折予防プロジェクトの取組みが認められ「優秀賞」を受賞いたしました。
考　察	○継続的に市社協広報紙で周知を進めていきます。 ○各冊子内容の更新と積極的な周知が必要だと考えます。 ○市民の認知度が低いので高めていく必要があると考えます。

⑵　住民参加・協働によるボランティア活動の推進

①ボランティア活動の相談・支援

＜ボランティア・市民活動センターの運営＞

目的と概要	ボランティア・市民活動に関する理解と関心を深め、ボランティア活動者・市民活動者との協働・連携及び支援を図ることにより、地域福祉を推進することを目的に山武市ボランティア・市民活動センターを設置・運営しました。
考　察	新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、徐々に活動を再開する人たちが増えてきました。今後に期待できると考えます。
登録状況	ボランティアグループ　122 グループ 1,461 名（前年：114G 1,393 名） 個人ボランティア　153 名（前年：　156 名） 全社協ボランティア保険加入者　6 名（前年：　5 名） 合計　1,620 名（前年：　1,554 名）

＜マッチング・相談支援＞

目的と概要	ボランティア活動に参加して欲しいと考えている団体等の情報をニーズ登録として受け付けるとともに、ボランティアに参加しても良いと考えている市民を登録し、双方に情報提供などを行い、活動と人とをつなぐことを目的に実施しました。
考　察	新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、徐々に活動が再開されてきました。学校から福祉体験学習開催、地区社協、市役所、身体障害者福祉会等の実施相談がありました。
事業内容	ボランティアに関する相談件数　３５件

＜ボランティア保険の加入促進＞

目的と概要	ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償する保険の加入促進を図りました。
考　察	登録ボランティアは全員加入しています。
事業内容	ボランティア保険加入者　１，６２０人

＜ボランティア活動資金づくり支援＞

目的と概要	さまざまな社会課題に取り組むＮＰＯやボランティアグループは、営利を目的としない活動を行っているため、常に資金的な支援を必要としています。このような団体に対して、支援したい分野やテーマで団体を公募し、助成金を提供する企業等の情報を提供し、活動活性化の支援を行っています。
考　察	ボランティアセンターで得た情報を随時登録ボランティアに提供します。
事業内容	当センターのボランティア情報誌「きらめき通信」にて随時紹介していきます。

＜ボランティア活動の広報・啓発＞

目的と概要	ホームページや広報紙「きらめき通信」をはじめとして、様々な機会を利用し、ボランティア活動について広く市民に福祉への興味・関心を抱いていただくための啓発を行いました。
考　察	福祉活動に参加してみようという気持ちを抱いていただけるような話題や情報を提供することを常に心がけていきます。
事業内容	①ボランティア・市民活動センター情報誌「きらめき通信」を毎月発行し、登録ボランティア及び一般市民、関係機関等に配布しました。 【第１９７号 ～２０８号発行済み：各３，５００部発行】 ②ボランティア・市民活動センター専用ホームページ （活動ＰＲ、登録支援、活動グループ紹介、災害支援等の情報提供）

＜ボランティア活動用資機材等の整備と貸出＞

目的と概要	ボランティア活動を支援するため、ボランティア活動に必要な当センターで所有する活動用資機材の貸出しを行いました。
考　察	新型コロナウイルス感染症の影響により例年に比べ貸出件数は少ないですが、一定のニーズに応えることができました。
事業内容	

貸 出 物 品 名	回数	延べ品数
ワイヤレスマイク	5	8
白杖	0	0
高齢者（障害者）疑似体験セット	5	３２

②各種ボランティア・市民活動講座等の開催

＜１.災害支援ボランティア講座＞　※再掲

目的と概要	災害支援ボランティア活動に対する知識と理解を深め、ボランティアとしての意欲の高揚や資質向上を図り、参加者が地域のリーダーとなって活動することで地域防災の増進に寄与することを目的として事業を実施しました。
考　察	市民の防災意識を高めるため、炊き出し等について講義とワークショップを通じて防災知識の普及活動を行いました。
実　績	

日　　時	令和６年３月２０日（水）
会　　場	成東文化会館のぎくプラザ
参加人数	６１名
内　　容	炊き出し体験を通じ防災、減災について学ぶ

＜２.夏休みボランティア体験教室＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>ボランティア体験学習を通じ、人生の重要な発達段階にある子どもの自立と連携の心を育て、地域社会の一員としての意識を高め、もって「参加型福祉社会の実現」に向けた担い手の育成に寄与することを目的のために事業を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>夏休み期間を利用し体験学習を行うことで、ボランティア活動に対する関心を育むことができました。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">１．防災ボランティア</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和５年８月７日（月）</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td>松尾町蕪木地区</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td>災害講話・防災カルタ・ロープワーク</td></tr>
<tr><td colspan="2">２．手話体験ボランティア</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和５年８月２４日（木）</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td>成東中央公民館</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td>手話サークルてことば・ひまわり聴覚障がい者協会の協力で手話を学ぶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">３．点字体験ボランティア</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和５年８月１７日（木）</td></tr>
<tr><td>会　　場</td><td>山武福祉センター</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>９名</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td>点字サークルなでしこの協力で点字を学ぶ</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

③おもちゃ図書館事業の開館

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>遊びを通して、ハンディキャップのある子どもを中心に、子どもたちの心身の発達を促すこと、並びに、保護者同士や親子と地域との情報交換・交流を図り、地域ぐるみの子育てを推進することを目的に、ボランティアの運営協力のもと、本年度は新型コロナウイルスの影響により４ヵ所中、１ヵ所のみ開催しました。また、開催できなかった３ヵ所ではおもちゃの貸出のみ行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>コロナ禍におけるおもちゃ図書館の運営について担当者が県連絡会の役員となり、県内各事業所の情報交換を行っています。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">“らっこ”山武市簡易マザーズホーム内「くまの部屋」</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td>毎月第２金曜日　10：00～11：30</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>７回（4/17.7/14.10/13.11/10.12/8.1/12.2/9）</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>こども４１名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">“ひらひら”おおひらこども園子育て支援センター</td></tr>
<tr><td>貸 出 回 数</td><td>０回</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>合計　こども０名　付き添い０名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">“みつばち”なるとうこども園子育て支援センター</td></tr>
<tr><td>貸 出 回 数</td><td>０回</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>合計　こども０名　付き添い０名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">“うさぎ”しらはたこども園子育て支援センター</td></tr>
<tr><td>貸 出 回 数</td><td>０回</td></tr>
<tr><td>参　加　者</td><td>合計　こども０名　付き添い０名</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

④福祉教育の推進

＜福祉教育活動費の助成＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>学校の児童・生徒と地域が密接に関わることで、自ら進んで地域活動に参加する市民として育ってくれることを目標に、市内の小・中学校に対し福祉教育推進に係る補助金を交付しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>目的に向け有効に活用されています。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>【助成実績】
<table>
<tr><td>学校名</td><td>成東小学校　緑海小学校　松尾小学校
山武北小学校　大平小学校　鳴浜小学校
睦岡小学校</td><td>各　校
30,000 円</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>７校（前年：８校　240,000 円）</td><td>210,000 円</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

＜福祉教育の推進・学校等への協力＞【７校　８回実施（昨年度：５校　５回実施）】

<table>
<tr><td colspan="2">１.緑海小学校</td></tr>
<tr><td>日　時</td><td>令和５年１１月１４日（火）１０：３０～１２：１０</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td>緑海小学校（３年生教室・４年生教室・少人数教室）</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>３学年児童　１クラス２３名・４学年児童　１クラス１６名</td></tr>
<tr><td>協力者</td><td>ボランティア１１名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>高齢者疑似体験および車いす操作体験</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">２.蓮沼小学校</td></tr>
<tr><td>日　時</td><td>令和５年１１月２１日（火）１０：３０～１２：１０</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td>蓮沼小学校（体育館）</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>４学年児童　１クラス３１名</td></tr>
<tr><td>協力者</td><td>ボランティア９名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>高齢者疑似体験および車いす操作体験</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">３.鳴浜小学校</td></tr>
<tr><td>日　時</td><td>令和５年１１月２８日（火）１０：３０～１２：１０</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td>鳴浜小学校（３学年教室、４学年教室、少人数教室）</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>３学年児童１６名、４学年児童２２名</td></tr>
<tr><td>協力者</td><td>ボランティア６名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>視覚障害について</td></tr>
</table>

４.成東小学校	
日　時	令和５年１２月１２日（火）１０：００～１２：００
場　所	成東小学校（体育館）
対象者	４学年児童６７名
協力者	九十九里病院職員、ボランティア１４名
内　容	高齢者疑似体験、車いす操作体験及び車椅子ボッチャ

５.南郷小学校	
日　時	令和６年１月１８日（木）１０：３０～１２：１０
場　所	南郷小学校（４学年教室、図書室）
対象者	４学年児童　２８名
協力者	視覚障がい者２名、ボランティア６名
内　容	視覚障害について

６.大富小学校	
日　時	令和６年１月２６日（金）１３：３０～１５：１０
場　所	大富小学校（体育館）
対象者	５学年児童　１クラス１７名
協力者	福祉体験学習サポーター５名
内　容	車いす体験学習、高齢者疑似体験学習

７.蓮沼小学校	
日　時	令和６年１月３０日（火）１０：３０～１２：１０
場　所	蓮沼小学校（体育館）
対象者	４学年児童　１クラス３１名
協力者	ボランティア９名
内　容	車いす体験学習、高齢者疑似体験学習

８.成東中学校	
日　時	令和６年３月１５日（金）１０：２５～１１：１０
場　所	成東中学校（体育館）
対象者	１学年生徒 １クラス６１名
協力者	ボランティア５名　手話通訳２名
内　容	聴覚障がい者のお話

２．日常生活を支援するサービスの充実

⑴　権利擁護と自立支援の取り組み

①成年後見推進事業の実施
＜法人後見事業の実施＞
【法人後見の受任】

目的と概要	家庭裁判所の審判に基づき、当社協が法人として成年後見人となり支援を行いました。
考　察	今年度、法人後見終了の方々が多くありました。また、成年後見制度の相談や市長申立ての案件からも、市外で施設入所されている方々を法人後見で受任するケースが今後増加する傾向にあると思われます。

【実績】

	類　型		
	補助	補佐	後見
総受任数 （前年度まで）	０件	０件	１１件 （終了６件）
今年度 受任数	０件	０件	１件 （終了３件）
年度末合計	０件	０件	３件

【相談件数】

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
件　数	８２	６	６	７	１０１

＜成年後見に関する研修及び会議等参加＞

期　日	名　　称	場　所	出席者
４月２４日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
５月　２日（火）	山武市成年後見支援会議	山武市役所	センター長 専門員
５月２２日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
６月２６日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
７月２４日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員
８月２８日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名

９月２５日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
１０月１３日（金）	千葉家庭裁判所八日市場支部 （意見交換会）	八日市場家庭裁判所	専門員２名
１０月２３日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
１１月２７日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
１２月２５日（月）	山武市成年後見支援会議	山武市役所	専門員２名
１月２２日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
２月１６日（金）	千葉家庭裁判所連絡調整会議	千葉地方裁判所	専門員２名
２月２６日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名
３月２５日（月）	相談業務連絡会 （成年後見支援会議事前打合会）	山武市役所	専門員２名

＜市民後見人の活動の推進に関する啓発活動（パンフレット配布及び事業説明等）＞

期　日	名　　称	場　所
１１月１７日（金）	手をつなぐ親の会	成東老人福祉センター

＜法人後見運営委員会＞

期日等	令和６年１月３０日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者９名・会長
内　容	（１）委嘱状の交付 （２）委員長及び副委員長の選任について （３）後見人候補の推薦受任について （４）経過報告について （５）その他

②日常生活自立支援事業の実施（愛称：すまいる）

目的と概要	日常生活を送る上で、十分な判断ができない方や、身体の不自由な方が地域で安心して生活できるように支援することを目的とした日常生活自立支援事業（千葉県後見支援センター事業業務）を千葉県社会福祉協議会から受託し、福祉サービス利用援助・財産管理サービス・財産保全サービスを実施しました。
考　察	今年度は利用者の債務問題事例が多くあり、弁護士等の専門家との連携が必要になるケースが多々ありました。また、新規契約者の増加に伴い、生活支援員不足になっていることから、引き続き募集の周知を図りたいと考えます。

【利用者・生活支援員】

利用者	新規契約数	３０ケース	
	解　約　数	１８ケース	
	その他移管数	１ケース	
	年度末現在契約数	８６ケース	
生活支援員	現　任　数	１８名	
	登　録　数	４名	

【実績】

	高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
契約数 （前年度まで）	１４６	２１	３７	９	２１３
今年度契約数 （その他移管数含む）	２４	３	４	０	３１
合計	１７０	２４	４１	９	２４４

【内容別契約者数】

	新規契約者総数（生保者数）	契約解除者数（生保者数）	移管者数（生保者数）	年度末現在契約数（生保者数）	サービス種類（※1）					
					福祉	財産管理				財産保全
						あり	なし	社協	個人	
R5.3まで契約数	213（73）	92（34）	50（18）							
今年度契約数	30（11）	18（11）	1（0）	86（26）	86	80	6	75	5	7
合計	243（84）	110（45）	51（18）	86（26）						

サービス種類説明（※１）

○福　　祉：福祉サービス利用援助…８６名

○財産管理：財産管理サービス……８０名

あり：代理権あり

なし：代理権なし

社協：通帳社協管理

個人：通帳個人管理

○財産保全：財産保全サービス……　７名

【相談内容別人数等内訳】

		高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
1	福祉サービスの手続き等					
2	日常的な金銭の管理等	50	3	3	3	59
3	書類等の預かり・財産保全					
4	保健サービスの手続き等					
5	医療に関する事項					
6	福祉サービスに関する苦情等					
7	今後の生活設計等					
8	本事業等に関する単なる問合せ		1			1
9	成年後見制度に関すること	31	2	3	2	38
10	虐待等に関すること等					
11	その他	1			2	3
合計		82	6	6	7	101

【相談・訪問調査等の回数】

		高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
相談・訪問調査等延べ回数		４０５	３０	２８	３６	４９９
訪問調査のみ	訪問実人数	９３				
	契約前訪問延べ回数	１１７				

【研修等の開催・参加】

○千葉県後見支援センター主催研修			
期　日	名　　称	場　所	出席者
７月２６日(水)	第１回日常生活自立支援事業連絡会議	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員
９月２７日(水)	日常生活自立支援事業専門員研修	千葉県社会福祉センター	専門員２名
１０月２５日(水)	成年後見制度利用促進体制整備セミナー	千葉県社会福祉センター	専門員３名
１月２９日(月)	日常生活自立支援事業生活支援員・担当者研修会	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員３名 生活支援員(現任・登録) １０名
２月２８日(水)	成年後見制度利用促進体制整備のための千葉県域会議	千葉県社会福祉センター	専門員２名
３月　１日(金)	第２回日常生活自立支援事業連絡会議	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員２名
３月２６日(火)	法人後見専門員研修会	成東老人福祉センター（リモート開催）	専門員２名

○さんむ成年後見支援センター主催研修			
期　日	名　　称	場　所	参加者
３月　９日（土）・１０日（日）	山武市市民後見人養成講座フォローアップ研修	成東老人福祉センター	１２名
３月２５日（月）	生活支援員連絡会議	成東老人福祉センター	１１名

【契約締結審査会（審査会場：千葉県社会福祉センター　毎月第３火曜日 18:15～)】

審査月	実施日	回数	審査内容（上程／単位：ケース)					支援計画 ※除審査会	出席者 (電話による)
			新規	新　規 事務局 審　査	評価	解約	支援計画		
4 月	18 日	278	2		2		1		専門員２名
5 月	23 日	279	2	1	9	3			専門員２名
6 月	20 日	280	2	3	8	1			専門員
7 月	18 日	281			4	1			
8 月	22 日	282		3	2	3			
9 月	19 日	283		1	4	1			
10 月	17 日	284	2	2	6				専門員２名
11 月	21 日	285	2	2	7				専門員２名
12 月	19 日	286	1		3	4			専門員２名
1 月	23 日	287	3		5				専門員２名
2 月	20 日	288		5	4	3	1		
3 月	19 日	289		4	4	3		3	
年間計			14	21	58	19	2	3	

※　審査会不承認、審査通過後辞退及び死亡により当年度契約数等とは一致しません。

【地域会議及び担当者会議（全１８回)】

期　日	場　所	人数	出席者
４月　７日（金）	成東老人福祉センター及び自宅	5	本人・ケアマネ・ヘルパー・生活支援員・専門員
４月２６日（水）	成東文化会館のぎくプラザ	8	成東包括３名・ケアマネ２名・ゆりの木・市役所障がい係・専門員
６月　５日（月）	成東老人福祉センター	6	成年後見人・生活支援員・ケアマネ・ヘルパー・専門員２名
６月　６日（火）	山武市役所	8	本人・成年後見人２名・ケアマネ・就労事業所支援者・さんネット・市役所障がい係・専門員
６月１４日（水）	松尾蓮沼包括支援センター	9	市役所保護係・相談支援専門員・ケアマネ・ヘルパー・松尾蓮沼包括２名・福祉用具専門相談員・専門員２名
７月　３日（月）	ケアステーション渚	5	【ケース１】本人・ケアマネ・デイサービス相談員・ヘルパー・専門員

７月　３日（月）	ケアステーション渚	5	【ケース２】本人・ケアマネ・デイサービス相談員・ヘルパー・専門員
７月１４日（金）	成東老人福祉センター	6	さんネット・ヘルパー・市役所障がい係２名・作業所職員・専門員
８月３１日（木）	自宅	7	本人・娘・ケアマネ・ヘルパー２名・福祉用具専門相談員・専門員
１０月６日（金）	松尾蓮沼包括支援センター	4	松尾蓮沼包括・ケアマネ・生活就労相談室・専門員
１０月３１日（火）	松尾蓮沼包括支援センター	5	ケアマネ・相談支援専門員・生活支援員・社協在宅福祉推進係・専門員
１１月８日（水）	自宅	5	本人・ヘルパー・デイサービス相談員・ケアマネ・専門員
１１月１７日（金）	山武市役所	5	山武包括・生活就労相談室・消費生活センター・ケアマネ・専門員
１１月２８日（火）	教育委員会	8	本人・同居人・本人娘・山武包括・生活就労相談室・消費生活センター・ケアマネ・専門員
１２月１９日（火）	松尾蓮沼包括支援センター	5	ケアマネ・相談支援専門員・ヘルパー・社協在宅福祉推進係・専門員
３月　６日（水）	成東老人福祉センター	6	成年後見人・生活支援員・ケアマネ・ヘルパー・専門員２名
３月　６日（水）	松尾蓮沼包括支援センター	5	松尾蓮沼包括・ケアマネ・ヘルパー・市役所保護係・専門員
３月１５日（金）	成東老人福祉センター	5	相談支援専門員・GH管理者・就労Ａ型事業所責任者・生活支援員・専門員

【事業説明および啓発活動等】

期　日	名　　称	内　容	出席者
１１月１７日（金）	手をつなぐ親の会	センターの役割・成年後見制度について	手をつなぐ親の会会員

③生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化
＜自立相談支援事業の実施＞
【相談実績】

目的と概要	何らかの理由により生活が困窮し、生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施し、その者の社会的経済的自立に資することを目的として実施しました。
考　察	令和５年度も多くの新規相談が寄せられました。安定収入を得るための求人は増えてきているものの、相談者の多くはそのような職に繋がりにくい課題を抱えています。自立相談支援の効率を高め、一方で、生活困窮者支援に対する地域理解の促進が必要と感じています。
実　績	

月	新規相談	延べ相談対応件数（前年度からの継続ケース含む）	プラン		モニタリング	評価	住居確保給付金（新規）
			新規	再			
４	１３	２００	１		６	３	
５	１５	１７１	１		５	２	
６	１７	２００	１		５	３	
７	１２	１８２		１	６	１	
８	１６	１７８		１	５	２	
９	１０	１８８	２	１	６		
１０	２０	２００	１		８		
１１	１１	１９２	１		９	２	
１２	１６	２２０	４	１	１０	２	
１	１０	１５５	３		１２	１	
２	１５	１５７		１	１４	２	
３	１６	１７０	３		１３	２	
合計	１７１	２，２１３	２２		９９	２０	０

実　績

【新規相談種別】

相談内容	主相談	その他	合　計
①　病気や健康、障害のこと	１１	５２	６３
②　住まいについて	7	２６	３３
③　収入・生活費のこと	１１４	３４	１４８
④　家賃やローンの支払いのこと	6	３１	３７
⑤　税金や公共料金等の支払いのこと	1	３５	３６
⑥　債務について	4	9	１３
⑦　仕事探し、就職について	１７	２３	４０
⑧　仕事上の不安やトラブル	1	１０	１１
⑨　地域との関係について	0	1	1
⑩　家族との関係について	1	１５	１６
⑪　子育てのこと	0	3	3
⑫　介護のこと	3	１６	１９
⑬　ひきこもり・不登校	3	2	5
⑭　ＤＶ・虐待	0	1	1
⑮　食べるものがない	1	9	１０
⑯　その他	2	1	3
合　計（相談者の抱える悩みの数）			４３９

≪相談内容の傾向≫
主相談　第１位：収入・生活費のこと
　　第２位：仕事探し、就職について
　　第３位：病気や健康、障害のこと

本年度の支援によって見られた変化（前年度までのケース含む）

生活面	生活保護の適用	53	生活習慣の改善	2
	住まいの確保、安定	11	孤立解消	65
	医療機関の診断開始	21	精神安定	82
	健康状態の改善	1	債務の整理	12
	障害手帳の取得	7	家計の改善	29
	自立意欲向上・改善	48	就労収入増加	10
	対人・家族関係の改善	3		
社会面	職場定着	7	就職活動開始	46
	一般就労開始（目的が継続的な就労。障害者雇用含む）	29	職業訓練の開始、就学	0
	障害者サービス活用（就労継続Ｂ型、就労移行支援等）	5	社会参加機会の増加	16
他	その他	24		

【終了理由内訳】

	前年度からの継続ケース	５年度新規受付ケース
解決	４２	３３
情報提供のみ	０	０
他機関にて対応	１	３
音信不通	５	０
その他 （転出、死亡、支援辞退等）	２１１	５
終了件数合計	２５９	４１
	３００	

前年度からの継続ケース数(A)	前年度からの継続ケースの内5年度終了数(B)	5年度新規受付分繰越ケース数(C)	次年度への繰越ケース数(A)-(B)+(C)
６１５	２５９	１３０	４８６

【支援調整会議】

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、支援及びその計画が適切なものであるか確認を行うとともに、関係機関及び関係者等の役割について調整を行うことを目的に開催しました。
考　察	各関係部署が出席し、意見交換や情報共有が行われています。原則毎月１回開催し、多職種連携の場として有効であると考えます。
場　　所	山武市役所本庁内会議室
参 加 者	社協事務局長、社会福祉課長、社会福祉係、保護係、障がい福祉係、包括支援センター、子育て支援課、健康支援課、家庭児童相談係、リンク（家計改善支援員)、自立相談支援員２名
実　績	全１２回

【会議・研修会等への参加】

会　議　等	＜令和５年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会＞ 期　日　令和５年６月９日（金） 内　容　・令和４年度山武圏域生活困窮者自立支援事業連絡会事業報告について ・令和５年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会活動計画について ・山武圏域生活困窮者自立相談支援事業所（任意事業受託事業所含む）より令和４年度活動報告 ・意見交換 ＜令和５年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会事務局会議＞ 【全４回】※オンラインにて開催　5/11、7/14、10/13、2/9 内　容　・社会資源や制度の情報提供を重点事項として実施 ・生活困窮者自立支援制度担当者の人材育成等 ＜山武健康福祉センター・中核地域生活支援センターに係る令和５年度山武圏域連絡調整会議＞ 期　日　令和５年５月３０日（火） 内　容　・中核地域生活支援センター2022 年度活動報告及び 2023 年度活動方針 ・講演：千葉県における福祉人材の現状と課題及び対策 ・説明：ヤングケアラー支援について「ヤングケアラー支援体制構築事業」　　他 ＜自殺対策連絡協議会担当者会議＞ 期　日　令和５年１１月２日（木） 内　容　・山武市における自殺者数の現状について ・自殺対策に関する支援を行なっている事例について ・山武市第２次健康づくり計画（自殺対策計画）について ・各所属の取組状況について
考　察	生活困窮者向けの求人情報や各種社会資源等、生活困窮者自立相談支援受託機関同士の情報共有の場として有効であると考えます。

研修会等	＜第１２回ちこねっと実務者ミーティング＞ 期　日　令和５年７月１日（土） 会　場　千葉県弁護士会館 内　容　・講演「女性支援新法の成立と今後」 ・県内の女性支援関係者のリレートーク ・グループワーク　　他 ＜福祉サービス苦情解決研修会【基礎編】＞ ※オンライン開催（ZOOM ミーティング） 期　日　令和５年１０月２７日（金） 内　容　講義「福祉サービス苦情解決体制と苦情への対応」 ＜zoom 研修「動物と暮らす生活困窮者の支援を考える」＞ ※オンライン開催（ZOOM ミーティング） 期　日　令和６年２月１０日（土）

	内　容　・講演①「動物も人もまるごと支援」一般社団法人反貧困ネットワーク「反貧困犬猫部」の取組 ・講演②　千葉県動物愛護センターのお話 ・活動紹介 ひとと動物のくらしを考える会（くらしっぽ）の取組 動物の一時預かり事業「しっぽステイ」について

＜生活困窮者自立支援制度の周知＞

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、市民や民生委員児童委員へ向けた相談窓口の周知を行いました。
考　察	令和５年度に実施出来なかったポスターの掲示や案内カードの作成について検討し、情報弱者への事業ＰＲの強化に努めたいと考えます。
実　績	市役所、社協窓口へのチラシの設置 民生委員児童委員協議会へのチラシ配布

＜ひきこもり当事者・家族に対するサポート体制の拡充＞

目的と概要	社会参加することに課題を抱え、生活のしづらさを感じている人への支援を通じ、ひきこもり者が地域に出て社会参加できる機会を作ることを目的とした「誰もが住みやすい地域づくり～ひきこもり当事者及び家族支援活動～」への事業協力を行いました。
考　察	ＮＰＯ法人リンクと協力開催することで、専門家を交えた質の高い支援活動を実施することができました。今後も地域の社会資源として広く認識されるよう、事業の定着を目指します。今後の課題として、ひきこもりサポーターの養成や、常設型の居場所づくりについても検討します。
実　績	＜市民公開講座＞ 期　日　令和６年２月１３日（火） 場　所　山武市役所車庫棟会議室 内　容　・講　　話「メンタルヘルスとひきこもり」 講　師：千葉県精神保健福祉士協会　山﨑久之　氏 ・事業説明「千葉県ひきこもり支援事業」 説明者：千葉県精神保健福祉センター　今津寿人　氏 ・活動報告　医療：浅井病院　川合隆世　氏 地域：生活就労相談室　加瀬和也 ＜心のいずみ in さんむ　家族・支援者の集い＞　【全４回】 期　日　7/24、9/25、11/27、1/29 場　所　成東老人福祉センター 講　師　（ひきこもり家族会）アドバイザー　阿部達明　氏 対象者　ひきこもりの家族を抱える方、支援者など 内　容　ワークショップ、講師による個別相談会 ＜心のいずみ in さんむ　ひきこもりを考える集い＞【全４回】 期　日　8/28、10/23、12/18、2/6 場　所　成東老人福祉センター 講　師　NPO 法人はんどいんはんど東総　副理事長 和田大史　氏 対象者　ひきこもりに悩む当事者（経験者）等 内　容　ワークショップ、個別相談会

＜就労体験（独自実施）＞

目的と概要	一定の自立見込みがある相談者に対し、就労の前段階として、就労意欲の向上や職の適性を判断するため実施しました。
考　察	ひきこもり当事者や職のブランクのある方等の成功体験づくりを目的として実施しました。引き続き、新たな体験メニューの開発と、協力者確保を進めたいと考えます。
実　績	期　日　令和５年１１月２８日（火） 場　所　成東老人福祉センター 内　容　カレンダー、ポスターの袋詰め作業（１名参加） 協力者　中央労働金庫成東支店

＜支援に向けた社会資源の把握と開発等＞

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、雇用協力者や食料・物品提供者、その他事業への協力依頼を通じ、生活困窮者への理解を広めました。
考　察	生活困窮者向けの職場、食料、物品、協力者確保は、自立相談支援において大変重要です。今後も新たな協力者の確保・開拓に取り組んでいきます。
実　績	＜地元企業お仕事フェアへの参加＞ 期　日　令和５年６月１日（木） 場　所　成東文化会館のぎくプラザ 内　容　地元企業の集まる就職説明会において、生活困窮者支援の協力依頼を行ない、チラシの配布を行った。 ＜合同就職説明会への参加＞ 期　日　令和５年１１月３０日（木） 場　所　ポートプラザ 内　容　合同就職説明会（介護デー）にて、困窮者支援に関する説明と協力依頼を行った。

④各種資金の貸付等
＜福祉資金の貸付＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>低所得世帯に対し、生活意欲の高揚と自立更生の推進を目的に、生活つなぎ資金その他必要な緊急援護費として貸付を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>生活保護決定となるまでの期間のつなぎ資金的支援、生活保護受給中の方の緊急的な支援を実施しました。
貸付支援で対応できないケースには、自立支援機関と連携し必要な制度へつなぎ、食料支援等（フードバンク）で対応しました。引き続き困窮世帯への迅速な支援が必要であると考えます。</td></tr>
<tr><td>貸付実績</td><td>【貸付状況】
<table>
<tr><td colspan="2">貸付件数</td><td>貸付額</td><td>償還済額</td><td>未償還件数</td><td>残高</td></tr>
<tr><td>今年度新規</td><td>17 件</td><td>412,000 円</td><td>315,200 円</td><td>4 件</td><td>96,800 円</td></tr>
<tr><td>前年度以前</td><td>16 件</td><td>367,600 円</td><td>61,100 円</td><td>11 件</td><td>306,500 円</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>33 件</td><td>779,600 円</td><td>376,300 円</td><td>15 件</td><td>403,300 円</td></tr>
</table>
※前年度以前の貸付件数及び貸付額は４月１日付未償還分を記載</td></tr>
<tr><td>食料支援</td><td>貸付相談時に生活状況に応じて食料支援を実施　23 回</td></tr>
</table>

＜生活福祉資金の貸付＞

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>低所得世帯や障がい者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより経済的自立・生活意欲の助長促進や在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付事業を千葉県社会福祉協議会から受託し実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>債権管理事務として、コロナ特例貸付では、支払免除の案内及び支払猶予に関する受付を実施しました。相談者の中には制度が理解できず、必要な申請手続きができずにいるケースがみられました。様々な相談の中で債務者であることを確認した場合には、今後も迅速に必要な手続きへつなぐ必要があると思われました。
教育支援資金では、低所得世帯、母子家庭世帯の進学に必要な資金の貸付を対応しました。引き続き、希望する進路を諦めることなく、将来的に世帯が自立できるよう地区担当民生委員と連携し支援していくことが重要であると考えます。</td></tr>
<tr><td>貸付実績</td><td>【県社協生活福祉資金 通常貸付状況】
<table><tr><th>貸付種類</th><th>貸付件数</th><th>貸付額</th></tr><tr><td>教育支援資金</td><td>3 件</td><td>951,400 円</td></tr><tr><td>福祉費</td><td>1 件</td><td>300,000 円</td></tr><tr><td>緊急小口資金</td><td>7 件</td><td>673,000 円</td></tr><tr><td>合　計</td><td>11 件</td><td>1,924,400 円</td></tr></table>○生活福祉資金償還免除申請　１件

【債権管理事務　コロナ特例貸付償還猶予申請状況】
<table><tr><th>貸付種類</th><th>申請件数</th></tr><tr><td>緊急小口資金</td><td>8 件</td></tr><tr><td>総合支援資金</td><td>5 件</td></tr><tr><td>総合支援資金（延長）</td><td>1 件</td></tr><tr><td>合　計</td><td>14 件</td></tr></table></td></tr>
</table>

＜貸付調査委員会の開催＞

期　日	令和６年３月２７日（水）
会　場	成東老人福祉センター　第１会議室
出席者	貸付調査委員６名出席　事務局１名
内　容	（１）委員長、議事録署名人及び書記の選出について （２）令和５年度県生活福祉資金等貸付事業の状況について （３）令和５年度本会福祉資金貸付事業の状況について （４）その他

⑵　総合的な相談機能の取り組み

①心配ごと相談所の設置

目的と概要	住民の日常生活上のあらゆる悩みを持つ者に対して積極的に相談に応じ、問題解決に向け助言や援助指導を行うことを目的に相談所を開設しました。					
考　察	長期化した感染症対策は、人々の生活に大きく影響し、家計急変による生活困窮やご近所との付き合い方などの相談が多く見られた。相談は年々増加傾向であり、一層問題も複雑化するなど、身近な相談場所の必要性が深く感じられた。					
区分	日数等	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	年間実績
一般相談	開設日数（日）	１２	２３	１２	１２	５９
	相談件数（件）	９	２４	５	１４	５２
法律相談	開設日数（日）	１１	１２	１０	１２	４５
	相談件数（件）	６５	６７	５０	７２	２５４

≪１．相談内容の傾向≫

一般相談　　第１位：財産　　第２位：家族

法律相談　　第１位：財産　　第２位：人権、家族

＜心配ごと相談所運営委員会＞

第１回	期　日	令和５年８月２日（水）
	会　場	成東老人福祉センター　第１会議室
	出席者	心配ごと相談所運営委員８名・事務局２名
	内　容	（１）委員長・副委員長の選出について （２）令和４年度「山武市心配ごと相談所」相談実績について （３）令和５年度相談員研修会の開催について （４）次回の運営委員会議の開催について
第２回	期　日	令６年１月１２日（金）
	会　場	成東老人福祉センター　第１会議室
	出席者	心配ごと相談所運営委員９名・事務局２名
	内　容	（１）令和５年度「山武市心配ごと相談所」相談実績について （２）令和５年度相談員研修会の開催について （３）令和６年度「山武市心配ごと相談所」の運営について （４）その他

＜心配ごと相談所相談員研修会＞

期　日	令和６年２月２９日（木）
会　場	さんぶの森交流センター　あららぎ館　多目的室
参加者	心配ごと相談所相談員２３名・事務局２名
内　容	グループワーク 　テーマ「ご近所トラブル」 講義「ご近所トラブルの留意点」 講師：総武法律事務所 　　弁護士　菊地史泰氏

②苦情解決相談の受付

＜福祉サービスに対する苦情解決の実施＞

目的と概要	社会福祉協議会が行う福祉サービスに関わる苦情解決の仕組みを整備することで利用者の権利を擁護し福祉サービスの適切な利用を支援するとともに本会の福祉サービス等の適正と信頼を確保するため、事業ごとに苦情受付担当者を配置し、苦情解決窓口を設置しました。
苦情件数	１件（第三者委員会への要望はなし）
研修会等	＜福祉サービス苦情解決研修会＞※オンライン研修 期　日　令和５年１０月２７日（金） 内　容　福祉サービスにおける苦情解決体制と苦情への対応 　　千葉県運営適正化委員会での苦情受付傾向 出席者　１３名（第三者委員・苦情解決責任者・苦情解決受付担当者等）

＜第三者委員の設置＞

目的と概要	苦情解決に社会性や客観性を確保するとともに、福祉サービス利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置しました。
委員数	３名
仲裁件数	０件（対象案件なし）

③虐待通報の受付等

目的と概要	社会福祉協議会が提供する福祉サービスでの虐待を防止するための体制を整備し、利用者の人権を擁護するとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援することを目的に虐待防止委員会を設置しました。
考　察	虐待防止対応責任者を配置し、利用者の人権の擁護と福祉サービスの適切な利用支援等に努めることができたと考えます。
通報の受付	０件
実　績	＜虐待防止委員会＞※身体拘束適正化委員会を兼ねる（書面開催） 期　日　　令和６年３月２９日（金） 内　容　　⑴　虐待防止チェックリストの見直しのついて ⑵　身体拘束等について ＜日常的な支援現場を把握するためのチェックリストの実施＞ 内　容　　⑴　労働環境・条件メンタルヘルスチェックリスト ⑵　職業性ストレス簡易調査票 ⑶　施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト 実施回数　　月１回 対象者　　障害福祉サービス事業所職員

３．自立生活を支援するサービスの提供

⑴　介護サービス関連の取り組み

①介護保険法に基づく第１号訪問事業（訪問型サービスＡ）の実施

目的と概要	介護予防日常生活支援総合事業の「訪問型サービスＡ」事業者として、主に要支援高齢者を対象に生活援助等のサービスを提供しました。
考　察	前年度と比較して訪問件数は横ばい状態で、事業ＰＲが課題となっています。
実　績	１．利用者　７名 ２．サービス提供月別延べ件数

区　分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
(利用者数)	(6)	(4)	(5)	(4)	(5)	(5)	(6)
訪問件数	24	21	24	15	31	27	36

区　分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合　計
(利用者数)	(6)	(6)	(7)	(7)	(6)	(67)
訪問件数	35	31	36	28	28	336

⑵　障害福祉サービス関連の取り組み

①移動支援事業の実施

目的と概要	市からの委託により、障害福祉サービス介護給付費支給決定を受けた心身障害者（児）等に対し、移動支援等のホームヘルプサービスを提供しました。
考　察	前年度と比較して訪問件数は横ばい状態で、事業ＰＲが課題となっています。
実　績	１．契約利用者数　１名 ２．月別延べ件数

区　分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
(利用者数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
移動支援	13	11	13	12	14	16	13

区　分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合　計
(利用者数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(12)
移動支援	12	14	12	12	12	154

②－１山武市福祉作業所の経営（自立訓練（生活訓練）の実施）

目的と概要	利用者に、生活訓練（作業的訓練含む）を通して、日常生活の能力を向上するための支援や相談支援を実施し、社会的自立に向けての援助サービスを提供するため千葉県の指定を受けていますが、利用者がいませんでした。
在 籍 者	０名
延出席者数	０名
開所日数	０日
職員体制	管理者　１名（社協事務局職員が兼務）※就労Ｂ型と兼務 サービス管理責任者　１名（作業所常勤職員より選出）※就労Ｂ型と兼務 臨時職員等　２名（常勤１名・非常勤１名）

②－２山武市福祉作業所の経営（就労継続支援Ｂ型の実施）

目的と概要	利用者に、作業訓練並びに生活訓練を通して、日常生活の充実と就労に関する支援を含めた社会的自立に向けての援助サービスを提供しました。
在籍者	成東１０名 山武１１名（うち１名退所・１名新規入所） 松尾１４名
延出席者数	６，４９５名（成東 2,007 名　山武 1,792 名　松尾 2,696 名）
開所日数	成東２４０日（９月８日は台風第１３号により休所） 山武２４０日（　〃　） 松尾２４０日（　〃　）
職員体制	管理者　１名（社協事務局職員が兼務） サービス管理責任者　１名（作業所常勤職員より選出） 常勤職員　３名（サービス管理責任者を除く） 臨時職員等　８名（常勤３名・非常勤５名）

＜職員研修等＞

実施月日	行事名称	行事等の内容	参加者数
６月３０日	作業所職員全体会議	○災害時の避難 ○利用者の避難場所の確認等	１３名
１０月２７日 １０月３１日 １１月　２日 １１月　６日	福祉サービス苦情解決研修会	○苦情解決体制の基礎的理解 ○苦情の対応について	１１名
２月　３日	福祉作業所職員研修会	○障害者についての理解 講師：宇津木文雄氏	１３名
月１回	月例作業所支援者会議	○各福祉作業所において、月毎の支援を総括し、課題について検証する。 ○支援員の虐待防止・権利擁護に関する事項を、自己チェックシートを活用し相互確認する。	全支援員

＜代表者会議（全１２回）＞

目的と概要	市内３か所設置されている福祉作業所の情報を共有することを目的に代表者会議を開催しました。
考　察	感染防止の取り組みや情報共有するため定期的に会議を開催しました。 今後も感染防止を講じながら、利用者が安全安心に利用できるように努めていきます。
実施回数	１２回
延べ人数	延べ４７名
主な内容	１．作業所の運営について ⑴　感染防止について ⑵　提供サービスについて ２．送迎サービスの運行について ３．毎月１回実施する虐待防止チェックリストの評価 ４．利用者状況及び事業所活動報告について

＜その他＞

①入所希望の見学者や関係各機関の見学希望者の受入等
②相談支援事業者との調整
③福祉機関・教育機関などから、職場体験や実習生の受け入れの実施

＜成東福祉作業所＞

実施月日		行事名称	行事等の内容
4	3	年度始め	
	6	お花見会	成東総合運動公園散策、所内お茶会実施
5	2	端午の節句お茶会	所内にてお茶会
	２３	昼食会	所内にて食事会
6	5	お茶会	所内にてお茶会
	１９	緑のカーテン設置作業	朝顔
	２９	消防訓練(避難訓練)	社会福祉協議会・マザーズ・作業所合同訓練
	２９	調理実習	
7	7	七夕お茶会	所内にてお茶会
	２１	昼食会	所内にて食事会
8	１８	納涼会	所内にてお茶会
	２１	所内昼食会	所内にてお茶会
9	１１	お月見茶会	所内にてお茶会
	２１	昼食会	所内にて食事会
10	１０	調理実習	
	３１	ハロウィンお茶会	所内にてお茶会

11	１３	お茶会	所内にてお茶会
	２４	昼食会	所内にて食事会
12	４～８	作業所見学週間	保護者見学有
	２２	クリスマス会	（調理実習を兼ねる）
	２６	消防訓練(避難訓練)	社会福祉協議会・マザーズ・作業所合同訓練
	２７	利用者仕事納め	納会（お茶会）
	28～1/4	利用者冬期休所	
1	５	利用者仕事始め	
	１５	昼食会	所内にて昼食会
	１６	利用者健康診断	18 日、19 日（高橋医院）
	２６	お茶会	所内にてお茶会
2	２	節分お茶会	所内にてお茶会
	２９	昼食会	所内にて食事会
3	１	桃の節句会	所内にてお茶会
	１９	調理実習	

※マザーズホームとの合同避難訓練を実施（月 1 回）
※毎日ラジオ体操を実施
※天候等により施設周辺で自主散歩を実施

＜山武福祉作業所＞

実施月日		行事名称	行事等の内容
4	３	年度始め	
	７	お花見お茶会	所内にてお茶会
	２１	調理実習	所内調理活動
5	２	お楽しみお茶会	端午の節句茶会（所内）
	１２	畑作活動	『収穫祭』に向けて（各種苗植え）
	１７	地震避難訓練	自主訓練
	２４	お楽しみ昼食会	カレーパーティー
6	９	お楽しみお茶会	利用者リクエストお茶会
	２３	調理実習	所内調理活動
7	７	お楽しみお茶会	七夕会（所内）／6 日：利用者準備活動
	１９	お楽しみ昼食会	納涼バーベキュー大会
8	１０	お楽しみお茶会	納涼会（所内）
	２５	お楽しみ昼食会	お楽しみお弁当

9	１１	お楽しみお茶会	（所内）
	２２	調理実習	所内調理活動
10	１３	地震避難訓練	自主訓練
	１３	お楽しみお茶会	ハロウィンパーティー（所内）
	２５	お楽しみ昼食会	ハロウィンパーティー２（所内）
11	１５	お楽しみお茶会	『収穫祭（焼き芋の会）』（所内）
	２２	調理実習	所内調理活動
12	４～８	作業所見学週間	保護者・グループホーム職員見学あり
	２２	お楽しみ昼食会	クリスマス会（所内）
	２７	お楽しみ昼食会	年越しそばの会（所内）※所外学習に変えて
	28～1/4	利用者冬季休所	
1	5	利用者仕事始め	※お楽しみ昼食会実施
	１０	お楽しみお茶会	お餅の会（所内）
	16・19・23	利用者健康診断	さんぶの森診療所
2	2	お楽しみお茶会	節分の会（所内）
	１５	調理実習	所内調理活動
	２２	消防避難訓練(消火指導)	東消防署山武分署指導
3	3	お楽しみお茶会	ひな祭り会（所内）
	１３	お楽しみ昼食会・お茶会	お楽しみお弁当
	２６	お楽しみ昼食	年度末食事会（所内）※所外学習に変えて

※毎日、テレビ体操を２回実施
※オライはすぬま・緑の風・山武市観光協会等への製品の委託販売
（ＰＰバンドかご・缶バッチ・ジャム・リサイクル椅子・手差し　等）

＜松尾福祉作業所＞

実施月日		行事名称	行事等の内容
4	3	年度始め	
	7	花見会	桜を見ながらウォーキング実施
	１８	お楽しみ食事会	所内にて食事会
5	2	端午の節句	所内にてお茶会
	１６	調理実習	調理実習
	２４	買い物体験	セイミヤにて買い物
6	１４	お楽しみ食事会	所内にて食事会
	２２	レクリエーション大会	所内にて実施

7	７	七夕会	所内にて食事会
	２０	調理実習	調理実習
8	１７	レクリエーション大会	所内にて実施
	２３	納涼会	所内にて実施
9	１４	調理実習	調理実習
	２９	避難訓練	松尾ＩＴ保健福祉センター合同避難訓練
10	５	レクリエーション大会	所内にて実施
	２０	お楽しみ食事会	所内にて実施
	２６	ハロウィンパーティー	所内にて実施
11	１５	調理実習	所内にて実施
	２８	お楽しみ食事会	所内にて実施
12	４～８	見学週間	保護者・利用者の見学
	６～22	利用者健康診断	松尾クリニックにて実施
	２１	クリスマス・ビンゴ大会	所内にて食事会
	２７	利用者仕事納め・年末お茶会	大掃除、お茶会
	28～1/4	冬季休所	
1	５	利用者仕事始め	
	１７	新年会	所内にて食事会
	２４	調理実習	調理実習
2	２	節分の会	豆まき、お茶会実施
	１４	バレンタインお茶会	所内にてお茶会
	２１	お楽しみ食事会 レクリエーション大会	所内にて実施
3	１	ひな祭りの会	所内にてお茶会
	１９	調理実習	調理実習

※買い物体験・レクリエーションを実施
※調理実習を実施
※健康増進・リフレッシュのため毎日２回の体操を実施

③－１山武市簡易マザーズホームの経営（児童発達支援事業の実施）

目的と概要	心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応できるための活動を実施しました。
考　察	新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの療育となり、計画通りにすすめることが難しい部分も多くありました。対応や内容を変更して行事等も行いましたが、今後も更なる工夫が必要だと考えています。
登録者数	２３名
利用別在籍数	児童発達支援事業：２３名
延べ利用者数	１，５２５名
開所日数	２４５日（９月８日は台風第１３号により休所）
職員体制	管理者　１名（社協事務局職員が兼務） 児童発達支援管理責任者　１名 常勤職員　３名（児童発達支援管理責任者を除く）
事業実績	

活　動　名	実施回数
理学療法訓練（鶴岡先生　大槻先生）	１２
心理発達検査・相談（島貫先生）	１１
言語発達指導（西本先生）	１２
作業療法訓練（小林先生）	6
音楽療法訓練（宍戸先生　小林先生）	１２
内科健診（高橋先生）	2
歯科健診（堀角先生　他）	1
摂食嚥下指導（堀角先生　他）	6
作業所との交流会	0
育児サークルとの交流会	0
避難訓練（自主訓練）	１２
幼・保・学校への訪問、見学等、連携	１３
保護者会活動（紙面にて、総会・勉強会、年末清掃）	5
園外保育（バス遠足２回）	0
夏まつり	1
レク大会	1
クリスマス会	1
卒園を祝う会（児童発達支援事業）	1
マザーズ主催研修会	0

③－２山武市簡易マザーズホームの経営（放課後等デイサービスの実施）

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応できるための活動を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの療育となり、計画通りにすすめることが難しい部分も多くありました。対応や内容を変更して行事等も行いましたが、今後も更なる工夫が必要だと考えています。</td></tr>
<tr><td>登録者数</td><td>１６名</td></tr>
<tr><td>利用別在籍数</td><td>みつばち：１５名　おひさま:６名　　ＰＴ：２名</td></tr>
<tr><td>延べ利用者数</td><td>５１８名</td></tr>
<tr><td>開所日数</td><td>２４５日（９月８日は台風第１３号により休所）</td></tr>
<tr><td>職員体制</td><td>管理者　１名（社協事務局職員が兼務）
児童発達支援管理責任者　１名
常勤職員　３名（児童発達支援管理責任者を除く）</td></tr>
<tr><td>事業実績</td><td><table>
<tr><th>活　動　名</th><th>実施回数</th></tr>
<tr><td>理学療法訓練（鶴岡先生　大槻先生）</td><td>１２</td></tr>
<tr><td>言語発達指導（西本先生）</td><td>6</td></tr>
<tr><td>作業療法訓練（小林先生）</td><td>6</td></tr>
<tr><td>避難訓練</td><td>1</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

４．社会福祉協議会の基盤強化

⑴　組織・運営に関すること

①評議員会・理事会・監査機能の充実

＜評議員会（全３回）＞

定時評議員会	期日等	令和５年５月３０日（火）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者２０名・会長・監事１名　　欠席者５名　（定数２５名）
	議　題	（１）理事及び監事の選任について （２）令和４年度事業報告及び決算について

第２回	期日等	令和５年６月２２日（木）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者１６名・会長　　欠席者９名　（定数２５名）
	議　題	（１）令和５年度資金収支補正予算について

第３回	期日等	令和６年３月２２日（金）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者１６名・会長　　欠席者８名　（定数２４名）
	議　題	（１）令和５年度第２次資金収支補正予算について （２）令和６年度事業計画及び資金収支予算について

＜理事会（全６回）＞

第１回	期日等	令和５年４月２７日（木）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１３名・監事２名　　欠席者理事２名　（定数１５名）
	議　題	（１）評議員候補者の選定について （２）令和４年度事業報告及び資金収支決算について
	報告事項	（１）山武市青少年育成市民会議委員の選出について

第２回	期日等	令和５年５月３０日（火）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１４名・監事２名　欠席者理事１名（定数１５名）
	議　題	（１）会長、副会長及び常務理事の選定について （２）評議員選任・解任委員の選任について （３）サーバー及び拠点間接続の契約について
	報告事項	（１）後援の承認について

第３回	期日等	令和５年６月１５日（木）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１３名・監事２名　欠席者理事２名（定数１５名）
	議　題	（１）令和５年度資金収支補正予算について （２）第 14 回山武市健康福祉まつりの実施について （３）チャリティイベントの実施について （４）第 18 回山武市社会福祉大会の開催について

第４回	期日等	令和５年９月２９日（金）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１１名・監事１名　欠席者理事４名・監事１名（定数１５名）
	議　題	（１）職務執行状況の報告について （２）第 18 回山武市社会福祉大会における山武市社会福祉協議会長表彰及び感謝の決定について （３）第 18 回山武市社会福祉大会の運営について （４）共同募金運動の実施について （その他）令和６年度福祉まつりの会場について
	報告事項	（１）後援の承認について （２）第 16 回チャリティゴルフコンペについて

第５回	期日等	令和５年１１月２９日（水）　於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１２名・監事２名　　欠席者理事３名（定数１５名）
	議　題	（１）社会福祉法人山武市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について （２）令和５年度歳末たすけあい募金による要支援世帯見舞金の配分について （３）令和５年度歳末たすけあい募金による福祉活動団体支援事業助成金の配分について
	報告事項	（１）後援の承認について

第６回	期日等	令和６年３月１４日（木）於：成東老人福祉センター　大会議室
	出欠等	出席者理事１３名・監事２名　　欠席者理事２名（定数１５名）
	議　題	（１）職務執行状況の報告について （２）事務局長の採用について （３）役員等賠償責任保険契約の締結について （４）社会福祉法人山武市社会福祉協議会福祉輸送サービス事業実施規程の一部改正について （５）社会福祉法人山武市社会福祉協議会住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業実施規程の一部改正について （６）児童福祉法に基づく社会福祉法人山武市社会福祉協議会山武市簡易マザーズホーム（児童発達支援事業所）運営規程の一部改正について （７）児童福祉法に基づく社会福祉法人山武市社会福祉協議会山武市簡易マザーズホーム（放課後等デイサービス）運営規程の一部改正について （８）令和５年度第２次資金収支補正予算について （９）令和６年度事業計画及び資金収支予算について
	報告事項	（１）後援の承認について

＜監事会＞

期日等	令和５年４月２１日（金）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者２名・会長
内　容	令和４年度事業及び会計に関すること

＜評議員選任・解任委員会＞

期日等	令和５年５月２３日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者４名・会長
内　容	（１）評議員の選任について

②委員会機能の充実

＜企画財政委員会＞

期日等	令和５年６月６日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者７名・会長　欠席１名
議　題	（１）副委員長の選出について （２）第１８回山武市社会福祉大会について （３）チャリティイベントについて

＜広報委員会（全８回）＞

第１回	期日等	令和５年４月２６日（水）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者６名　欠席２名
	議　題	（１）会報第６９号（Ｒ５年夏号）の発行について

第２回	期日等	令和５年６月１日（木）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第６９号の校正について

第３回	期日等	令和５年７月１２日（水）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７０号（Ｒ５年秋号）の発行について

第４回	期日等	令和５年８月２９日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者６名　欠席２名
	議　題	（１）会報第７０号の校正について

第５回	期日等	令和５年１０月３日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者７名　欠席１名
	議　題	（１）会報第７１号（Ｒ６年新年号）の発行について

第６回	期日等	令和５年１１月３０日（木）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７１号の校正について

第７回	期日等	令和６年１月１８日（木）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７２号（Ｒ６年春号）の発行について

第８回	期日等	令和６年３月６日（水）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
	出欠等	出席者８名
	議　題	（１）会報第７２号の校正について

＜地域福祉委員会＞

期日等	令和５年６月６日（火）　於：成東老人福祉センター　第１会議室
出欠等	出席者８名
議　題	（１）第１４回山武市健康福祉まつりについて （２）その他

③社会福祉協議会発展・強化計画の推進

目的と概要	社会福祉協議会の将来像や目的を明らかにし、組織・事業・財務等に関する取り組みを明示した５か年計画を策定しました。
考　察	今後さらに計画内容を意識して事業の展開を行う必要があると考えます。
実　績	＜第１次山武市社会福祉協議会発展・強化計画＞ ○第４次地域福祉活動計画との整合性を持ちながら計画を推進 ○広報きずなでSDGｓ活動を通じた各部署の紹介掲載 ○計画を踏まえ社協活動を展開

④事務所の検討

目的と概要	事務局のある成東老人福祉センターは、老朽化により市では機能移転後建物を撤去する予定であるため、社会福祉協議会の新たな拠点となる事務所の確保が急務となっています。
考　察	事務局だけではなく、社会福祉協議会全体として、事務事業の効率を考慮した拠点の確保ができるように、定期的に行政と協議する機会を持ち、社会福祉協議会としての要望を伝えていく必要があると考えます。
実　績	行政との協議（１回）

⑤社会福祉法人指導監査

期　日	令和６年３月２７日（水）
実施場所	山武市成東老人福祉センター
実施者	山武市
主な内容	社会福祉法第56条による監査 ※指摘事項なし

⑵　財務に関すること

①月次収支状況の分析

目的と概要	毎月末日における合計残高試算表及びサービス区分ごとの月次試算表を作成し、収支状況の確認及び分析を行いました。
考　察	月次試算表、合計残高試算表を毎月作成し預貯金残高の確認等を行い適切な財産管理を行うことができました。また、年度末において予算の執行状況における事業達成状況を迅速に把握することができ決算時の負担軽減を図ることができました。 令和５年度は社会情勢の変化等による会費等の減少はみられたものの事業実施における支出は増加がみられました。
実　績	・現金及び預貯金の確認（毎月） ・貸借対照表科目の整理（毎月） ・合計残高試算表の作成（毎月） ・月次試算表の作成（毎月）

②指定管理施設の運営分析

目的と概要	指定管理者として適切に指定管理施設の運営ができているか否か分析を行いました。
考　察	再度（令和４年度から令和８年度まで）指定管理者として選定されたため、計画、市条例等に従い概ね適切に管理運営を行いました。
実　績	・市への月次報告書の提出 ・年度評価の実施

③会員加入促進（会員募集）

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>社会福祉協議会の財源は会費、補助金、共同募金配分金が主なものである中で特に自主財源確保の基盤として、山武市に居住する方並びに社会福祉に関心を有し本会の趣旨に賛同する方に対し会員募集を行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>世帯数、区・自治会への未加入等社会情勢等の変化もあり、一般会費については、年々縮小傾向にあることが実績減の要因と考えます。未協力地区への再依頼は、引き続き実施していきます。
なお、賛助会費については新型コロナウイルス感染も落ち着きマイクロバスの貸出実績が増加しました。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>〈会員の種類〉
<table>
<tr><th>種類</th><th>会員数</th><th>会費額(円)</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>一般会員</td><td>９，７３８</td><td>４，３７４，６６２</td><td>市内各世帯</td></tr>
<tr><td>賛助会員</td><td>８３</td><td>２０３，０００</td><td>役職員・
マイクロバス</td></tr>
<tr><td>特別会員</td><td>１</td><td>５，０００</td><td>施設</td></tr>
<tr><td>計</td><td>９，８２２</td><td>４，５８２，６６２</td><td></td></tr>
</table>
・一般会員＜市内各世帯＞　一口　５００円
・賛助会員＜役員・個人＞　一口１，０００円
・特別会員＜篤志家・会社＞　一口５，０００円</td></tr>
</table>

④赤い羽根共同募金運動の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>地域の誰もが幸せに安全で安心して暮らしていける明るい社会を実現するために思いやりとたすけあいの心を持ち寄る運動として募金活動を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類感染症に移行されたことにより、街頭募金を実施しました。健康福祉まつりは荒天のため中止となりイベント募金ができませんでしたが、その他については例年どおり実施することができました。
募金額が減少しており、募集活動の工夫が必要であると考えます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>
<table>
<tr><th>種別</th><th>募金額</th></tr>
<tr><td>戸別募金</td><td>４，３７０，５９０円</td></tr>
<tr><td>街頭募金</td><td>４，７９３円</td></tr>
<tr><td>法人募金</td><td>１，４７９，５００円</td></tr>
<tr><td>学校募金</td><td>１３８，９５７円</td></tr>
<tr><td>職域募金</td><td>３６，７４５円</td></tr>
<tr><td>イベント募金</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>個人募金</td><td>７，３８１円</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>４５，３０１円</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>６，０８３，２６７円</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

＜街頭募金＞

実施日	令和５年１０月２日（月）
場　所	ＪＲ成東駅前
活動者	１０名 支会長（市長）・市職員・社協会長・監事・職員

＜法人募金＞

実施日	令和５年１１月～
場　所	市内全域
活動者	１３地区社会福祉協議会福祉推進員

⑤歳末たすけあい募金運動の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>共同募金運動の一環として「新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、市民の参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開する。」ことを目的に募金活動を実施しました。
山武市では特に支援を必要としている在宅者への歳末見舞金贈呈事業及び福祉関係団体の活動費助成などを行いました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>募金活動は例年どおり実施することができましたが、年々募金額が減少しています。福祉関係団体活動助成については、コロナ感染予防の観点から施設や団体関係者のみの事業も対象としたため増加しています。募金が減少している中、コロナ禍前の助成基準であった地域住民との交流事業を対象にするなどの見直しが必要であると考えます。</td></tr>
<tr><td>募金実績</td><td><table>
<tr><td>種　別</td><td>募金額</td></tr>
<tr><td>戸別募金</td><td>１，８２９，９４６円</td></tr>
<tr><td>その他の募金</td><td>１３，５０６円</td></tr>
<tr><td>前年度繰越金</td><td>３４９，９７０円</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>２，１９３，４２２円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>助成実績</td><td><table>
<tr><td>助成先</td><td>件数等</td><td>助成額</td></tr>
<tr><td>在宅者見舞金</td><td>１１６件</td><td>５８０，０００円</td></tr>
<tr><td>福祉活動団体支援事業</td><td>６６団体</td><td>１，１６１，４００円</td></tr>
<tr><td>経費</td><td></td><td>２１，９０２円</td></tr>
<tr><td>剰余金・繰越金</td><td></td><td>４３０，１２０円</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>２，１９３，４２２円</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

⑥日本赤十字社社資募集運動の実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>生命と健康を守り、人間の尊重を確保するとともに、全ての国民間の相互の理解、友情、協力および堅固な平和を助長すること等を目的とし、その目的を果たすための事業活動資金としての社資募集運動を実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>コロナウイルス感染防止に努め、社資募集を実施しました。今後も法人社資の実績が増えるよう努めます。</td></tr>
<tr><td>社資実績</td><td>
<table>
<tr><th>種別</th><th>件数等</th><th>金額</th></tr>
<tr><td>一般会費</td><td>９，７１１件</td><td>４，３１１，４８０円</td></tr>
<tr><td>法人会費</td><td>１５５件</td><td>５０１，５００円</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>９，８６６件</td><td>４，８１２，９８０円</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

⑦チャリティイベントの実施

<table>
<tr><td>目的と概要</td><td>市民の主体と参加によるイベントを開催し、福祉に関する意識をもっていただくとともに、市民相互の親睦と交流及び健康の保持を図るため実施しました。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>チャリティイベントの実施を継続していき、財源確保に努めます。</td></tr>
<tr><td>実　績</td><td>①第１５回チャリティゴルフコンペ
※荒天により中止

②第１０回チャリティグラウンドゴルフ大会
期　　日　　令和５年１０月１９日（木）
場　　所　　成東総合運動公園
参 加 者　　１５３名
寄 付 金　　７３，３４０円
実行委員　　１３名　【実行委員会２回】</td></tr>
</table>

⑧自主財源の確保（その他）

目的と概要	財務基盤強化に向け自主財源の確保を積極的に行うとともに、省エネ対策と無駄を省いた事務の合理化を行い適切な支出に努めました。
考　察	ミニ福祉バザーを開催し自主財源の確保に努めました。また職員一丸となり省エネ対策に取り組みました。 また実習生の積極的な受入れ、外部講師としての職員派遣等を行なった結果自主財源が増加しました。
実　績	・プチ福祉バザーの開催（随時） ・実習生（社会福祉士養成）の受入れ（随時） ・外部研修の講師としての職員派遣（随時） ・関係組織委員会、調査会等の委員の受任（随時） ・省エネ対策（通年）

⑨寄附金品

区分	件数	金額	備考
現　金	４１件	９５９，４０８円	
物　品	１１９件	内訳：米・野菜・食料品・日用品等	
その他（資源リサイクル）		プルタブ・アルミ缶・ペットボトルキャップ等	
考　　察		昨年度より金融機関で硬貨を入金する際に手数料がかかるようになったため、今年度も引き続き１円玉募金が多く寄せられました。 また、物品（特にお米）の寄付も多く、いただいた食品等は生活が苦しい方々へ食糧支援を行ないました。資源リサイクルへの協力者も増加しました。	

⑶　人材確保・育成に関すること

①人材確保・育成（実習生の受け入れ）

目的と概要	各資格取得プログラムの一環や福祉現場の体験学習として、社会福祉活動の各現場で実習生の受入を行いました。

＜社会福祉士資格＞

所　属	人員	期　間	内　容
東京通信大学人間福祉学部	１名	5/8～7/18 （24 日間 180 時間以上）	全部署における援助技術現場実習
淑徳大学総合福祉学部	１名	9/7～10/26 （24 日間 180 時間以上）	全部署における援助技術現場実習

＜臨地実習＞

所　属	人　員	期　間	内　容
城西国際大学看護学部	２８名	7/28～12/10 （3 日間延べ 84 日）	全部署における現場体験実習

②役職員研修会の実施

目的と概要	複合的問題に対応する全世代・全対象型地域包括支援をどの地域でも的確に実践できる地域社会を推進するため、その支援体制や取組み方法のあり方について考えることを目的に、地域福祉実践研究セミナーへ参加しました。
考　察	コロナ禍では外部研修に参加する機会が減少していましたが、研修に参加することで社会情勢や他市町村社会福祉協議会の実践報告を聞くことができました。 今後も積極的に研修会へ参加し、職員の資質向上に努めていきます。
期　日	令和５年１２月１６日（土）
場　所	富里中央公民館
参加者	役員６名　職員１１名
内　容	○第１９回房総（印旛地区）地域福祉実践研究セミナー

③職員研修会の実施

目的と概要	社会福祉協議会職員としての意識向上、課題解決をするため研修会を開催しました。
考　察	複雑多様化する福祉ニーズに応えるため、外部講師を招き専門的分野の研修を実施することで、時代に即応できる職員の育成につながると考えます。
期　日	令和５年６月３０日（金）
場　所	成東老人福祉センター
参加者	２０人（会長　職員１６名　他市町社会福祉協議会職員３名）
内　容	○となりの外国人を知る 講師：ＪＩＣＡ東京国際協力推進員（外国人材・共生）　松井和久　氏

⑷　広報・啓発に関すること

①広報誌「きずな」の発行

目的と概要	社会福祉協議会事業ＰＲ及び寄付、募金の報告などを掲載し市民へ情報発信しました。
考　察	広報委員は、千葉県社会福祉協議会主催の研修会に参加しました。今後も魅力ある紙面づくりに努めます。
発行回数	４回（夏号・秋号・新年・春号）
発行部数	１回につき（夏・秋・新年）１４，０００部、（春）１３，０００部
配 布 先	市内全世帯（新聞折込み）・市内公共機関等
印刷業者	株式会社　白樺写真工芸

②リーフレット・チラシの作成

目的と概要	社会福祉協議会及び事業への理解と周知を図ることを目的にリーフレットやチラシを作成しました。
考　察	既存の「山武市社会福祉協議会のしおり」について、事業内容の見直しを行い、関係団体や実習生などに配布し、社会福祉協議会の周知を図りました。
実　績	・市民の皆様等に向け、本所・連絡所等へ設置配布しました。

③ホームページの充実

更新回数	３４回
目的と概要	社協事業に関する情報を広く発信しました。
考　察	随時更新し、発信することができました。

④第１８回山武市社会福祉大会の開催

目的と概要	多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するため実施しました。 また、市内小中学生から地域ぐるみ福祉のまちづくり作品（作文・標語・ポスター）を募集し、福祉の啓発を図るとともに受賞者への表彰を行いました。
考　察	例年行っています表彰の他に、地域で活動している団体の発表や日頃福祉活動をされている方々へ感謝するため抽選会を実施しました。 前年度の反省を踏まえ活動発表団体数や抽選会の方法を見直ししたことで、大会がスムーズに進行することができたと考えます。
主　催	山武市・山武市社会福祉協議会
期　日	令和５年１１月１６日（木）
会　場	成東文化会館のぎくプラザ
参加者	２００名
内　容	＜大会＞ ○表彰 山武市社会福祉協議会長表彰状贈呈　３０名 山武市社会福祉協議会感謝状贈呈　３６名 標語・作文・ポスター入賞者表彰及び記念品贈呈　９名 ○地域活動発表 大富地区社会福祉協議会 手話サークルてことばの会 ○おたのしみ抽選会 ＜展示＞ ○期間　令和５年１１月１０日（金）から１１月１６日（木） ○場所　成東文化会館のぎくプラザ　ふるさとコーナー ○内容　・地域ぐるみ福祉のまちづくり作品（作文・標語・ポスター） ・山武市社会福祉協議会事業紹介 ・山武市福祉作業所紹介 ・山武市簡易マザーズホーム紹介 ＜会議＞ ○企画財政委員会　１回

⑤第１４回山武市健康福祉まつりの実施

目的と概要	市民の主体的な参加を促進し、地域福祉活動の一環として開催することにより、住民福祉の向上と福祉意欲及び健康意識の高揚を図り、あわせてその普及と振興に努めることを目的に実施するため準備をすすめてきましたが、荒天により中止になりました。
主　催	山武市・山武市社会福祉協議会
期　日	令和５年１０月１５日（日）　※荒天の影響を考慮し中止
場　所	蓮沼交流センター駐車場
来場者	
内　容	テーマ『地域から始めよう　健康と福祉のまちづくり』 ・ステージ発表　１６グループ ・企画ブース（模擬店など）４０団体　５２区画 （福祉バザー・健康コーナー・社協コーナー等）
会議等 開催状況	①企画実行スタッフ全体会議　・７月２１日（金） ②運営スタッフ会議　・７月２８日（金） ③企画実行総務班　・８月　３日（木）・９月　６日（水） ④企画実行ステージ班　・７月２１日（金）・８月１０日（木） ・９月　７日（木）・９月２５日（月） ⑤企画実行会場班　・７月２１日（金）・８月１０日（木） ・９月　４日（月） ⑥ステージ参加者説明会　・９月２１日（木）

⑥出前講座の実施

目的と概要	地域に出かけ、出前講座を行うことにより市民の福祉に対する理解を深めることを目的に実施しました。
考　察	千葉県立松尾高等学校１学年生徒を対象にボランティア等について講義を行いました。
日　時	令和５年６月２９日（木）１３時３０分～１４時３０分
参加者	１５名
内　容	①ボランティア入門について講義 ・ボランティアの歴史、定義、活動の４原則、知っておきたいポイント等 ②地域福祉計画・活動計画について ・計画のポイントと市民参加のまちづくりについて

⑸　福祉団体の支援

目的と概要	社会福祉協議会では、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、赤十字奉仕団、ゴールドクラブ連合会の事務局を担い、支援を行いました。
考　　察	新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行し行動制限がなくなったことなどにより、各団体の事業も概ね計画どおり実施しました。

①山武市ボランティア連絡協議会

実　績	会員数　３３６名（前年度：３５４名） 内訳：27グループ　３２３名　個人１３名 ○第１８回総会（文書にて承認を得る。） ○実施事業・役員会議　　９回 ・お茶べり会　　２回 ・災害支援ボランティア講座（社協と共催）１回 ・ボランティア活動発表会　１回

②山武市身体障害者福祉会

実　績	会員数　３７名（1 名亡くなり、1 名新規入会） ・事業及び会計監査（4/10） ・総会（4/24） ・納涼会（8/21） ・山武地区障害者スポーツ（モルック）体験交流会（10/11） ：市民活動フェスタへバザー参加（12/10） ・友愛訪問（12 月全会員宅訪問） ・新年会（1/25） ・いちご狩り（3/15） ・千葉県障害者スポーツ大会への参加 ・千葉県在宅重度障害者慰問品贈呈事業（12 月） ・役員会５回（4/10、5/19、8/8、10/11、12/5） ※資源ごみ回収運動実施 ※学校福祉教育事業協力 ※会員増員運動実施

③山武市手をつなぐ親の会

実　績	会員数　５０名（賛助会員含む） ・総会（5/26） ・クリスマス会実施（12/23） ・役員・定例会（毎月）の開催 ・山武郡市連絡協議会、千葉県育成会主催事業等への参加

④山武市赤十字奉仕団

実　績	団員　１５名 ・事業及び会計監査（4/27） ・総会（5/25） ・役員会６回（4/27、6/22、8/29、10/24、11/29、1/23） ・法人社資募集活動（7 月） ・山武市一日赤十字（9/26） ・視察研修（3/7） ・東南ブロック事業への参加 ・千葉県支部事業への参加

⑤山武市ゴールドクラブ連合会

実　績	クラブ数　５３クラブ　会員１，７４５名 ＜会議＞ ・総会（4/28） ・役員会 7 回（4/14，6/23、8/28、10/2、11/28、1/25、3/15） ・専門部会 14 回（4/28、5/30、6/8、6/19、6/22、6/29、7/19、8/9、9/14、9/22、9/29、10/12、12/14、2/19） ＜市事業＞ ・囲碁・将棋大会（7/24） ・県老連特選演芸会（7/4） ・スポーツ大会（7/13、9/28） ・いきいきわくわく教室（6/9、8/10、10/13、12/15） ・芸能・カラオケ大会（9/6） ・親睦旅行（10/26） ・山武市社会福祉大会（11/16） ＜山武地区事業＞ ・山武地区老人クラブ役員連合会総会（6/21） ・山武地区高齢者囲碁・将棋大会（8/30） ・山武地区高齢者グラウンドゴルフ大会（9/14） ・山武地区高齢者ペタンク大会（11/9） ・山武地区役職員県外研修（12/13・14） ・山武地区高齢者芸能大会（1/24） ＜県事業＞ ・千葉県なのはなペタンク大会（10/5） ・千葉県高齢者グラウンドゴルフ大会（11/22） ・千葉県シニア囲碁・将棋大会（12/11）

⑹　第４次地域福祉活動計画の推進

①山武市地域福祉活動計画推進委員会

目的と概要	地域福祉活動計画に基づき地域住民の主体的な活動やコミュニティづくり活動の推進を行い、多様な地域福祉活動や住民活動の活性化に努めました。
考　察	「地域福祉推進助成事業」の申請団体が減っています。社会状況にもよりますが、地域福祉活動を行う市民を増やし、地域福祉計画の推進につなげたいと考えます。
実　績	＜山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会＞ 【第１回】 期　日　令和５年　６月２９日（木） 場　所　山武市役所 第５会議室 出　欠　出席８名 内　容　⑴　山武市地域福祉活動推進助成事業について ⑵　今年度のスケジュールについて ⑶　その他 【第２回】 期　日　令和６年　３月１５日（金） 場　所　山武市役所 第６会議室 出　欠　出席８名 内　容　⑴　第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画評価について ⑵　令和５年度地域福祉活動推進助成事業実績報告について ⑶　その他